

関西ハーモニカ連盟会報

ハーモニー

Harmony



218

2019年1月

ドレミちゃん
© 関西ハーモニカ連盟 2011

関西ハーモニカ連盟 組織 2018年8月15日現在

常
任
理
事

会 長 仲村 眞 〒558-0054 大阪市住吉区帝塚山東 1-7-15 フォルム帝塚山 309 号
TEL 06-6674-0152 FAX も同じ

理 事 長 吹上晴彦 〒602-8488 京都市上京区真倉町 757-107
TEL 075-411-1531 FAX も同じ

副理事長兼事業部長 梁木 進 〒599-8116 堺市東区野尻町 192-20
TEL 090-8655-6045 FAX 072-286-4890

事業部長補佐 小川未佐子、鐘ヶ江義行、木ノ山洋子、源馬英人、富久鉄男、松本千佳子
副理事長兼事務局長 村上博昭 〒630-0141 生駒市ひかりが丘 1-13-20
TEL 0743-79-9559 FAX も同じ

事務局長補佐 角野まゆみ

編 集 局 長 もり・けん 〒594-0041 和泉市いぶき野 4-1-4-209
TEL 0725-57-7235 FAX も同じ（会報の原稿は会報編集室まで）

連盟会報編集室（会報の原稿の送付先、会報誌に関する問い合わせ等）
harmonica@cardandmedia.co.jp
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F 関西ハーモニカ連盟事務局
TEL 06-6354-0323 FAX 06-6353-1393

編集局長補佐 岩本洋之、竹内寿子

HP 広報担当 渡辺晃志

研 修 部 長 小林由美子 〒662-0046 西宮市千歳町 7-42
TEL 0798-22-1844 FAX も同じ

研修部長補佐 住田陽子、永野富康、西本豪介、丸山茂生

組 織 部 長 梅田恒弘 〒611-0021 宇治市宇治塔川 3-11
TEL 0774-21-2373 FAX 0774-39-5506

組織部長補佐 松本千佳子（兼）

会 計 部 長 柴田正之 〒654-0013 神戸市須磨区大手町 5-3-1
TEL 078-734-5157 FAX も同じ

会計部長補佐 木ノ山洋子（兼） 21 人

理 事 青木鈴子、新井尚子、稲垣裕子、井上孝子、* 内田常雄、尾崎雄三、* 小野浩子、
金丸寿夫、* 喜多創平、木原淳、黒谷マス子、源馬恵子、* 坂田利雄、佐藤長、
園真佳、高阪他美子、高山美千代、田口史朗、田口幸輝、谷口昌子、伊達吉孝、
中崎利枝子、中谷晃、中西富佐男、新山ミツ子、新田真理、服部恵美子、羽原伸示、
林和子、林一義、福島隆志、藤野つるみ、藤原延之、保理江元子、松岡郁子、
松本忠義、道下雅之、光野利一郎、和谷篤樹（*は事業部長補佐） 39 人

会 計 監 査 後藤貞男

常 任 顧 問（五十音順） 寺村安雄、村上浩一、吉村則次 3 人

顧 問（該当者なし）

特 別 顧 問（五十音順） 斎藤寿孝、十河陽一、徳永延生、水野隆元、森本恵夫、和谷泰扶 6 人

関西ハーモニカ連盟 ホームページ <http://harmonika-renmei.studio-web.net/>

入会のご案内 組織部長

入会金：1000 円（団体は 1 団体 1 律 1000 円）

年会費（1 月から 12 月）：

個人会員 5000 円、地域外個人会員 5000 円、準会員（30 歳未満の方）1000 円

団体会員（5 名以上の団体で 1 名につき）1000 円、賛助会員 10000 円

郵便振替口座：00950-6-115527、加入者名：関西ハーモニカ連盟、通信欄に「入会申し込み」と記入してください。

◎入会申込書は必ず組織部へお送り下さい。

ハーモニカが好きな方なら、吹く方、吹かない方、上手な方、下手な方、上手になりたい方、ニュースだけほしい方等、どなたでも入会できます。



目次

関西ハーモニカ連盟会報 ハーモニカ 第218号 (2019年1月号)

発行部数 500 毎年 1、4、7、10 月に発行 (送付はそれぞれ前月中下旬)

表紙の写真は岡本幸子さんのひ孫さん、将麻君 3 歳です。

裏表紙は田上悦子さんのお孫さん、竜乃介君 4 歳と空花ちゃん 2 歳です。

関西ハーモニカ連盟 2019 年度「定時総会」 招集のご案内	理事長 事務局長	吹上晴彦 村上博昭	2
組織部・会計部からのお願い	組織部長 会計部長	梅田恒弘 柴田正之	3
関西ハーモニカ連盟への入会ご案内	組織部		4
《個人会員》《準会員》《賛助会員》入会申込書	組織部		5
《団体・団体会員》申込書(新規・継続)	組織部		6
第 12 回西日本ハーモニカコンテスト・決算	会計部長	柴田正之	7
第 29 回関西ハーモニカ祭り・決算	会計部長	柴田正之	8
2018 年合宿交流会決算	会計部長	柴田正之	9
関西ハーモニカ連盟第 5 回合宿交流会報告	事業部長	梁木 進	10
第 29 回関西ハーモニカ祭り実施報告	事業部長	梁木 進	12
常任理事会実施報告	事務局	角野まゆみ	14
40 周年記念式典及びパーティは 2019 年 6 月 2 日に徐園にて 功労者に感謝状、記念誌の発行、入会金の免除等、記念行事を実施	40 周年記念 事業委員長	吉村則次	14
2019 年度研修会のご案内	研修部長	小林由美子	15
関西ハーモニカ連盟研修会申込書	研修部		17
2018 年度第 2 回研修会報告 佐藤秀廊作品より「お江戸子守唄」		源馬英人	18
ハーモニカカレンダー	編集局		20
関西ハーモニカ連盟創立 40 周年で想うこと	組織部長	梅田恒弘	22
教室だより 尼崎文化センター金曜教室		新山ミツ子	23
教室だより 和泉フィルハーモニカ		中谷 晃	24
川西市清和台の「ふれあい広場」に出演		福田徹士	25
ハモニ館第 11 回夏季宿泊研修会		角野まゆみ	26
ハーモニカカルテット「ハートーン」近況報告		堤 大志郎	28
吉村クロマチック教室発表会 徳永延生氏ほかをゲストに迎え、第 10 回を盛大に開催		吉村則次	29
三重県ハーモニカ協会第 17 回定期演奏会を終えて 「ブルースターズ創立 10 周年記念演奏会」によせて		永野富康 雑賀 健	29 30
複音クロマチックとは何か		吉村則次	30
あのころの歌 40 年前の歌を吹いてみませんか		吉村則次	32
ハーモニカが上達するための大切なこと(最終回)		池田輝樹	33
温故知新(最終回) ホフマンの舟歌 私の青空		寺村安雄	34
ハーモニカをポケットに、能代～竜飛岬 250km の旅		木原 淳	36
連盟サイト閲覧手引きⅦ	編集局 HP 担当	渡辺晃志	38
みやぎき中央新聞記事	編集局		39
れんめいひろば	編集局		40
行って、見て、聞いて(私の備忘録) vol.11		岩本洋之	41
会員異動のお知らせ	組織部長	梅田恒弘	42
編集後記			44

関西ハーモニカ連盟会員各位

関西ハーモニカ連盟 2019 年度『定時総会』招集のご案内

関西ハーモニカ連盟理事長 吹上晴彦

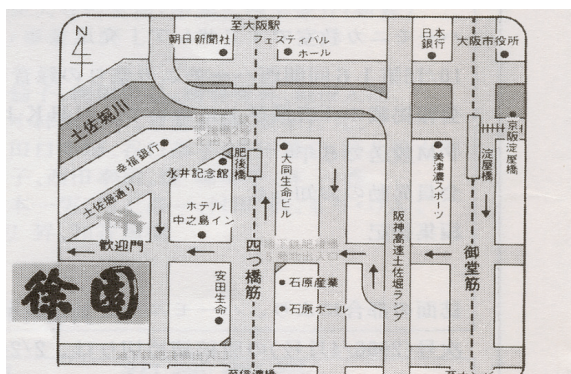
担当 事務局長 村上博昭

当連盟 2019 年度定時総会を下記の通り開催致しますので、万障繰り合わせの上、ご出席下さいますよう案内申し上げます。

記

- 1、日 時 定時総会 2019 年 2 月 11 日（月曜日・建国記念の日）午後 3 時開始
- 2、場 所 徐園（大阪市西区江戸堀 1-15-30 電話 06-6448-5263）
- 3、議 題
 - ① 2018 年度事業報告の件
西日本ハーモニカコンテスト、合宿交流会、関西ハーモニカ祭り、研修会他
 - ② 2018 年度収支決算報告書承認の件
 - ③ 2019 年度事業計画承認の件
スプリングコンサート、交流旅行、関西ハーモニカ祭り、研修会、40 周年記念事業
 - ④ 2019 年度予算案承認の件

- ◎議決権を有する会員で総会に欠席される方は、事前に事務局に異議の申し出がない限り、一切の議決権を理事長に委任したものとみなします。
- ◎団体会員は、原則として議決権のある「団体会員代表者」のご出席をお願いします。
- ◎総会終了後、交流懇親会を同所で実施します。 会費 5,000 円（午後 5 時頃開始予定）
- ◎年会費及び懇親会費は同封の振込み用紙にてお支払いください。
- ◎出欠は、同封の葉書にて、12 月末日までにご返送ください。



- ・地下鉄四つ橋線肥後橋駅
2 番出口より徒歩 1 分
- ・京阪電車 中之島線渡辺橋
7 番出口より徒歩 5 分

- *お願い・2019 年度年会費の支払は、当会報に同封の振込み用紙にて 1 月 31 日までに送金をお願いします。（現金でのお支払は受け付けていません。）
- ・「振込み忘れて退会扱いトラブル」等にならないようご協力をお願いします。
- ・止む得ない事情により当会を退会される方は、同封の葉書にてその旨を連絡ください。
- ・2019 年入会として申し込まれて既に 2019 年度会費を納入済みの方、及び特別顧問の方は同封の振込用紙を無視してください。

《組織部・会計部からのお願い》

組織部長 梅田恒弘

会計部長 柴田正之

新年度を迎えるにあたり、次の4点についてご協力をお願いいたします。

「個人会員・準会員・賛助会員 登録（継続）」

- ・継続者はこの会報に同封の葉書の継続に○をつけてご返送ください。
- ・新年度会費（個人：5,000円、準会員：1,000円、賛助会員：1団体当たり10,000円）を1月末日までに会計部へお振り込みください。

昨年から会費納入期限が1月末になりましたのでご協力ください。

万一2月末日までに未納の時は、連盟規約第5条-6（会員資格の喪失）③により、不本意ながら退会扱いになりますのでご注意ください。

「個人会員・準会員・賛助会員 登録（新規入会）」

- ・5ページに掲載の「《個人会員》《準会員》《賛助会員》入会申込書」をA4判に拡大コピーし、必要事項をご記入の上、必ず組織部へご送付ください。

※入会金（1,000円）は2019年度に限り免除です。年会費（個人：5,000円、準会員：1,000円、賛助会員：1団体当たり10,000円）を会計部へお振り込みください。

「団体・団体会員 登録（継続）」

- ・「団体会員」は前年度からの継続者をも含めて、年毎に登録しなければなりません。6ページに掲載の「《団体・団体会員》申込書（新規・継続）」をA4判に拡大コピーし、団体会員氏名ほか必要事項をご記入の上、1月末日までに必ず組織部へご送付ください。
- ・年会費（団体会員1人につき1,000円）は1月末日までに会計部へお振り込みください。

昨年から会費納入期限が1月末になりましたのでご協力ください。

万一2月末日までに未納の時は、連盟規約第5条-6（会員資格の喪失）③により、不本意ながら団体が退会扱いになりますのでご注意ください。

「団体・団体会員 登録（新規入会）」

- ・6ページに掲載の「《団体・団体会員》申込書（新規・継続）」をA4判に拡大コピーし、会員氏名ほか必要事項をご記入の上、必ず組織部へご送付ください。

※入会金（新規登録時1,000円）は2019年度に限り免除です。年会費（団体会員1人につき1,000円）を会計部へお振り込みください。

※「入会金」は関西ハーモニカ連盟40周年記念特典として2019年度に限り免除致します。

（組織部） 「個人会員」「準会員」「賛助会員」「団体・団体会員」申込書の送り先

〒611-0021 宇治市宇治塔川3-11 梅田恒弘

（会計部） 「入会金」「年会費」の振込先

振替口座 番号00950-6-115527 名義 関西ハーモニカ連盟

関西ハーモニカ連盟への入会 ご案内

組織部

《ハーモニカにご関心のある方ならだれでも・いつでも入会できます。》

関西ハーモニカ連盟の主な活動

- ハーモニカコンサート（ハモ祭り）
- ハーモニカコンテストの開催
- ハーモニカ情報を満載した会報「ハーモニー」を年4回（1. 4. 7.10月）発行
- 懇親会・研修会・研究会・合宿・交流会等の開催
- 詳細は会報「ハーモニー」やホームページをご覧ください

《入会金と年会費》

入会金（個人・準会員）1,000円

〃（団体）1団体一律に初回のみ 1,000円

但し、入会金については関西ハーモニカ連盟創立40周年記念特典として、2019年度に限り免除します。

年会費（個人会員）5,000円

〃（準会員）1,000円 若手育成のため30歳未満の方に正会員並みの待遇をします。

〃（団体会員）1名当たり 1,000円

〃（賛助会員）1団体当たり 10,000円

《入会方法》

- 5ページ、6ページに掲載の入会申込書をA4判に拡大コピーして所定事項を記入し、入会金および会費の振込証（コピー）を添付して組織部へお申込みください。
- 団体は5人以上でご加入ください。（個人会員・準会員の重複加入も認める。）
- 会員名簿には、団体については「団体名」「代表者名」「住所」「電話番号」「会員の氏名」「人数」を公開します。

《入会申込書送付先》（FAX,E-mailでも可）

〒611-0021 京都府宇治市宇治塔川3-11 梅田恒弘

Tel/Fax 0774-21-2373

E-mail umeda-tsunehiro@kdt.biglobe.ne.jp

《入会金・年会費送金先》

下記の口座へ郵便振込みで送金をお願いします。

振替口座 番号 00950-6-115527、名義 関西ハーモニカ連盟

会計部長 柴田正之 Tel/Fax 078-734-5157

組織部長 梅田恒弘 Tel/Fax 0774-21-2373

関西ハーモニカ連盟

会長 仲村 眞 殿
 理事長 吹上 晴彦 殿

《個人会員》《準会員》《賛助会員》 入会申込書

(上記、申したい会員を○で囲む)

年 月 日

(ふりがな)		(性別)	男	女
氏 名		準会員の方は年齢	歳	
住 所 (ふりがな)	〒 ー			
	府・県	郡・市	町・村	
電 話・FAX	ー	ー	FAX	ー ー
携 帯	ー	ー		
e-mail				
ホームページ				
《非公開事項》	番地・電話番号の公開を	①認める	②認めない	
ご入会の動機				
ご 紹 介 者				
生 年 月 日	T. S. H	年	月	日生 (ハーモニカ経験年数) 年
加入教室・演奏団体				
主にご使用のハーモニカ	複 音	カマチック	10ホール*	合奏ハーモニカ ()
加入他団体名(○をつけてください)	全日本ハーモニカ連盟、日本ハーモニカ芸術協会、F I H、N H C、 ハーモニカ振興会、その他()			
(入会金・年会費 振込証のコピー) 貼 付 <u>2019年度に限り40周年記念特典として</u> <u>入会金は不要です</u>		(連盟への期待・要望など)		

組織部

関西ハ一モニカ連盟 会長 仲村 眞殿
 理事長 吹上 晴彦殿

組織部

《団体・団体会員》 申 込 書 (新規・継続) 年 月 日
 (新規か継続かを○で囲む)

団体名	(ふりがな)		
代表者名	(ふりがな)	性別 男 女	代表者は 個人会員 団体会員 準会員
住所	〒 ー ー 府県		
電話・FAX	ー ー	FAX	
携帯・Email	ー ー	E-mail	

振込金額	入会金(初回のみ) 1,000円 / 年会費 円 / 合計 円		
団体人数	人		
(ふりがな) 会員氏名			
	(欄が 足りなければ 別紙へ)		

第12回 西日本ハーモニカコンテスト・決算

2018年8月5日(日)
サンスクエア堺

会計部長 柴田正之
2018年9月10日

収入の部	今回12回		前回11回		前々回10回	
	2018年8月5日		2016年8月11日		2014年8月23日	
内 訳	(件)	決算額	(件)	決算額	(件)	決算額
ジュニアソロ部門	1	4,000	0	0	0	0
ジュニア・アンサンブル部門	0	0	0	0	0	0
クロマチック・ソロ(クラシック)	7	48,000	7	47,000	4	23,000
クロマチック・ソロ(ジャズ・ポピュラー)	15	114,000	13	95,000	8	58,000
複音トレモロソロ	25	164,000	23	127,000	21	114,000
デュエット	5	62,000	2	24,000	2	20,000
小アンサンブル	2	30,000	3	45,000	4	60,000
大アンサンブル	3	60,000	3	65,000	3	60,000
フリーソロ	2	12,000	0	0	1	5,000
応募計 ①	60	494,000	51	403,000	43	340,000
入場券売上 ②		575,838		486,000		360,000
CD・DVD 売上 ③		0		0		12,000
収入合計 ①+②+③		1,069,838		889,000		712,000
特別会計から補填 ④		-63,764		146,533		362,058
合計 ①+②+③+④		1,006,074		1,035,533		1,074,058

支出の部	今回12回		前回11回		前々回10回	
	決算額		決算額		決算額	
内 訳	決算額		決算額		決算額	
会場費	361,842		342,810		259,008	
賞品代 盾等	143,144		150,587		172,806	
審査員謝礼 交通費含む	270,000		330,000		345,000	
司会者謝礼	30,000		30,000		30,000	
ゲスト謝礼(交通費)	3,000		11,000		60,000	
関係者食事代	9,600		11,299		38,072	
世話人交通費	42,160		32,380		42,680	
プログラム等印刷費	53,144		27,060		31,984	
看板代	14,596		14,220			
郵送費	34,640		29,536		77,008	
審査用CD作成費	20,000		15,000			
その他雑費	6,948		17,091			
打ち上げ補填	17,000		24,550		17,500	
合計	1,006,074		1,035,533		1,074,058	

- *1 応募要領を1200部作成・配布した効果か、応募者多く出演料増
- *2 有料入場者 270→288 また入場料 1800→2000のため 入場料増
- *3 審査員6名→5名のため 審査員謝礼 減
- *4 ゲスト出演者減のため ゲスト謝礼 減
- *5 応募要領作成費 23000増

コンテスト決算としては 初めて黒字となった。

第29回関西ハーモニカ祭り・決算

2018年9月29日(30日) (30日は台風のため中止)
サンスクエア堺

関西ハーモニカ連盟

会計部長 柴田正之

2018/10/25.

収入の部	今回		参 考			
	29回		29回(両日実施)		27回	
	2018/9/29		9/29.30		2016/10/22~23	
内 訳	決算額		決算推定額		決算額	
出演料	(件)		(件)		(件)	
Ⅰソロ	20	120,000	44	264,000	45	270,000
Ⅱデュオ	1	8,000	3	24,000	2	16,000
Ⅲトリオ	0	0	0	0	0	0
ⅣアンサンブルA(4~6名)	8	80,000	14	140,000	18	180,000
ⅤアンサンブルB(7~10名)	4	48,000	8	96,000	19	228,000
ⅥアンサンブルC(11~15名)	5	70,000	14	196,000	18	252,000
ⅦアンサンブルD(16名以上)	6	90,000	12	180,000	12	180,000
ピアノ	1	3,000	6	18,000	4	12,000
出演料計	44	419,000	95	918,000	114	1,138,000
協賛金		89,530		89,530		99,530
その他(返金用郵送費寄付)		820				
収入合計		509,350		1,007,530		1,237,530

支出の部

内 訳	決算額	決算推定額	決算額
会場費合計	230,954	461,908	538,364
ホール使用料等総計	122,094	244,188	215,000
音響・照明人件費・設備使用料	108,860	217,720	323,364
プログラム印刷費	131,284	131,284	114,141
看板制作費	0	0	0
司会謝礼	45,000	60,000	60,000
関係者食事代等	5,625	11,250	6,946
世話役交通費	37,520	75,040	70,100
諸費(コピー、郵送、小物等)	48,734	30,000	33,089
ゲスト演奏者に謝礼	0	0	21,000
合計	499,117	769,482	843,640

差引金額	10,233	238,048	393,890
------	--------	---------	---------

神戸オルビス

注 30日 台風のため中止。51組に499,000円 出演料返金。
諸費の中に返金用経費 約24,000含む。
決算推定額は両日実施できたとした場合の推定決算額。

上記 差引金額 10,233 円は特別会計に繰り入れます。
なお 本年3月に支払われた、昨年度の奈良国文祭の追加助成金・734,000円
も 特別会計に繰り入れます。

2018年 合宿交流会決算

2018年9月15日16日

新大阪ココプラザ

会計部長 柴田正之

2018年10月24日

収入	今回 2018年9月15日16日				前回 2016年9月3日4日			
	参加費	人数	金額		参加費	人数	金額	
宿泊者参加費	15,000～15,500	37	558,000	注1	14,000	44	616,000	注4 *1
	7,000～7,500	2	14,500		12,000	1	12,000	
1日目日帰り参加費	3,500～4,500	80	323,500	注2	3,500	64	224,000	*2
1日目夕食代	3,000	14	42,000		2,000	16	32,000	*3
2日目日帰り参加費	4000～4,500	32	130,150	注3	3,500	34	119,000	
2日目昼食代	650	17	11,050		650	12	7,800	
追加参加・食事代					1,000	2	2,000	
返金						3	-5,950	
合計			1,079,200				1,006,850	

支出	今回 2018年9月15日16日				前回 2016年9月3日4日			
ユース使用料			461,890				422,500	*3
ココプラザ使用料 講義			72,800				67,700	
ココプラザ使用料 コンサート			125,450				109,450	
講師謝礼			311,000				215,000	*4
司会謝礼			0				20,000	
チラシ・プログラム作成料			18,791				8,000	
郵送料			12,084				16,781	
諸費			12,758				31,504	
合計			1,014,773				890,935	

差し引き			64,427				115,915	
------	--	--	---------------	--	--	--	----------------	--

注1 招待11名、半招待2名 ふくめ宿泊者50名

注2 招待4名、夕食のみ4名 ふくめ参加者88名

注3 招待3名 ふくめ参加者35名

注4 招待5名ふくめ宿泊者50名

*1 宿泊費はあげたが招待者増のため総金額は減少

*2 1日目の日帰り参加者増加

*3 夕食・懇親会の単価を2000円から3000円に増。そのためユース支払増加。

*4 講師数増。10人→17名

剰余金64,427円は特別会計に繰り入れます。

関西ハーモニカ連盟 第5回合宿交流会 報告

事業部長 梁木 進

2018年9月15・16日、大阪市立青少年センター（呼称：ココプラザ）で、第5回合宿交流会を開催いたしました。9月上旬の台風21号の影響により、関西空港は閉鎖され、大阪南部地域は停電が続いていました。この環境下、9月15日朝、関西地域はもとより、九州、四国、韓国、関東など遠方より、多くのハーモニカ愛好家がココプラザに集って下さいました。

参加者は二日間で延べ197人に至りました。各種講座、交流会、コンサート等、熱気に包まれた二日間でした。全ての行事を恙無く実施できましたのは、参加者皆様のご協力によるものです。主催者を代表して心からお礼を申し上げます。

一日目は講座が10コース、夜は大食堂での「交流夕食会」と「吹きまくり大会」、二日目は講座が5コースと昼食後のコンサートと充実した内容でした。今回は講師として関東から大勢の方々に来阪いただき、15コースを設けることができました。前回に引き続き講師として斎藤寿孝さん、楠光恵さん、宮田薫さん、鈴木楽器竹森雅裕さんに講義をしていただきました。更に今回は、韓国のKim Byeongseopさん、宮崎県の作田嘉余子さん、関東の田邊峯光さん、真田正二さん、厚木ひまわり・星幸江さんに講義していただきました。お忙しいところを来阪いただいた講師



斎藤寿孝さん

の皆様に対し、参加者全員を代表して心からお礼申し上げます。素晴らしい講義と演奏をありがとうございました。

新井尚子さん、梅田恒弘さん、村上博昭さんには講師からコンサート演奏まで、ご支援いただき、大変にありがとうございました。

特別ゲストとしてステージに立っていただいた、トンボ楽器社長真野照久さんのアコーディオン演奏には、いつもの交流会とは異なった楽しさを味わう事ができました。

指導者の先生方や演奏家、普段は接点の無い他の地域のハーモニカ愛好家との交流が本行事の目的です。先生方や参加者の皆さんからお寄せいただいた生のお声を下記に紹介させていただきます。

星幸江さん（神奈川県）

「アンサンブル講座を通じて、演奏ステージで結果発表をさせていただいて、それこそ良い成果を披露できて、受講者の方々は、ステージに立つ喜びを感じていただけたと思います。方々から集まった参加者が、たったの2時間で、心一つにでき、気持ちよく演奏できた喜びの笑顔は、私の脳裏に焼き付いています。私たち（厚木ひまわり）も本当に幸せです。本当にありがとうございました。」



斎藤寿孝さんの講座

棚町修一さん（福岡県）

「初めての参加です。講習・交流の密度が濃く、非常に充実した2日間でした。日頃、疑問に思っていたことや、練習の仕方等、いろんな気づきがありました。もっと練習して、講師の先生方の演奏にいくらかでも近づきたいという思いが益々高まり、ハーモニカへの魅力がさらに深まりました。」



キム・ビョンソップさんの講座

津野忠彦さん（愛媛県）

「愛媛県に住んでいる私は、関西ハーモニカ連盟主催の一泊二日の合宿交流会に参加させていただきました。今回から関西ハーモニカ連盟に加入していなくても、だれでも参加できると聞き申し込みました。数年前に埼玉県での二泊三日の研修会に参加しましたが、四国から埼玉は遠く、それに比べて大阪なら大変近く、しかも会場が新大阪駅のすぐ近くであることは、西日本地方からの参加者にとっては二重にありがたいことでした。

講習内容も盛りだくさんで受けたい講座も多く、選ぶのに苦労しました。初心者から上級者向けや演奏技法からメンテナンスまで幅広いものでした。

一泊二日の良いところは、講習だけでなくい

ろいろな人との出会いがあることです。同じ部屋になった3人の方々と、夜おそくまでいろいろなお話をさせていただき情報交換ができました。皆さんの現在の活動の様子などいろいろ聞かせていただき、たくさんの刺激をいただくことができました。同室のお二人は今回の交流会のお世話人さんでいろいろとご苦労も多かったことでしょうか、おかげさまでいい二日間を過ごせました。また機会がありましたら参加させていただきたいと思っています。」

<編集室より>

津野忠彦さんは四国の真ん中にある四国中央市を拠点に活躍しておられ、全日本ハーモニカ連盟より2018年度「日本ハーモニカ賞」を受賞されました。お祝い申し上げます。



<事業部よりお詫びして訂正します>

交流会コンサート当日のプログラムに「第6回」と記載しましたが、正しくは「第5回」でした。

第 29 回関西ハーモニカ祭り実施報告

事業部長 梁木 進

はじめに、今回のハーモニカ祭は予定通りの実施が出来なかった事に対して連盟よりお詫びの言葉が出されましたので下記に報告いたします。

「第 29 回関西ハーモニカ祭り 2 日目中止」のお詫び

関西ハーモニカ連盟理事長 吹上晴彦

今般、9月29日(土)・30日(日)に開催予定だった「第29回関西ハーモニカ祭り」の2日目を、超大型台風24号の接近により止むを得ず中止いたしました。28日(金)朝の天気予報による台風進路を確認の上、1日目はハーモニカ祭りを開催するが2日目は中止すると決定いたしました。

2日目出場予定であったソロ26人、アンサンブル27組の皆様ならびに広告協賛いただきました法人様および、司会の中嶋多実子様にお詫び申し上げます。この日この時の演奏のために費やされたエネルギー・時間・費用等は計り知れないものと承知しております。

台風だから仕方がないでは済まされません。しかし、2日目のハーモニカ祭りを開催した場合、祭りの途中で暴風雨警報の発令となり、公共交通機関の運転見合せによる帰宅困難等の憂慮すべき事態が懸念されました。ゆえに連盟は、会員皆様の安全確保が最優先であると考え、苦渋の選択としてハーモニカ祭りの中止を決断いたしました。このような状況をご理解いただきまして、何卒、今回の中止措置にご了承賜りますようお願い申し上げます。

第29回関西ハーモニカ祭りは2018年9月29日(土)と30日(日)の両日にわたり、サンスクエア堺において開催予定でした。1日目はソロ18人、アンサンブル21組に出演いただき開催できましたが、終日、雨は強く足元も悪い中、会場に参集いただきました。出演者の皆様には、日頃の練習成果を遺憾なく発揮され、見事な演奏を見せていただきありがとうございました。

2日目は台風24号の上陸が避けられないという状況下、連盟として上記の通り「中止」という決断がなされました。2日目出演予定の皆様方には、28日中に連盟ホームページ及び連盟の組織を通じて「2日目の演奏会中止」の連絡をいたしました。予定されていたソロ26人、アンサンブル27組の皆様方に、深くお詫びを申し上げます。来年は好天気であるように念じております。

「第 29 回関西ハーモニカ祭り」1 日目の報告

事業部 源馬英人

今回は29日(土)のみの演奏発表会となりましたが、気象状況による数組の欠場者があったものの、多くの参加者と聴衆が堺に集まり、演奏者は日頃の練習の成果を存分に発揮されました。通例の「西日本ハーモニカコンテスト入賞者の演奏」では、本年8月に開催された同コンテスト複音ソロ部門の優勝者(グランプリも獲得)小林希久子さんが優勝曲「黒田節」の素晴らしい演奏を披露されました。

プログラムの時間設定にほぼ正確に従いながら最後まで円滑に進み、第29回関西ハーモニカ祭りは幕を閉じました。今回の関西ハーモニカ祭りは、悪天候の中での実施ということもあり、右ページの写真に見られるように、参加者の皆さんの心が、いつも以上に一つに合わさっていたように感じられました。30日(日)に出演予定だった方々の演奏を聴けなかったことは残念の極みですが、次の機会に素晴らしい演奏を聴かせていただけると確信し、心待ちにしています。



アンサンブル・ハモ二館



山麓ハーモニカクラブ・生駒



ハーモニカ同好会いかるが



大阪音楽大学付属音楽院アンサンブル



奈良ウェルネスハーモニカ倶楽部

43 ページにもハーモニカ祭りの写真を載せています。

常任理事会実施報告

事務局 角野まゆみ

2018年第6回常任理事会報告

日時 2018年8月20日(月)午後6時より

場所 ふんふんさろん

議題 ①事業部 西日本ハーモニカコンテスト報告

合宿交流会について

ハーモニカ祭りについて

②40周年記念事業委員会

③編集局 40周年記念事業について

④組織部 会員動向について

⑤研修部 研修会申し込み状況について

⑥会計部 会費収入について

2018年第7回常任理事会報告

日時 2018年9月10日(月)午後6時より

場所 ふんふんさろん

議題 ①事業部 合宿交流会について

ハーモニカ祭りについて

②40周年記念事業委員会

③編集局 編集作業状況について

④組織部 会員動向について

⑤研修部 研修会申し込み状況について

⑥会計部 西日本ハーモニカコンテスト決算

⑦その他

40周年記念式典及びパーティは2019年6月2日に徐園にて

功労者に感謝状、記念誌の発行、入会金の免除等、記念行事を実施

40周年記念事業委員長 吉村則次

すでに会報にてお知らせしている通り、当連盟は1979年(昭和54年)に創立され、本年2019年6月2日に創立40周年を迎えます。それを記念する事業の一つとなる記念式典及びパーティは、東京からの関係ご来賓をもお迎えし、2019年6月2日(日)午後3時～7時に、大阪市西区の北京料理徐園で開催することに決定しております。その参加者募集は、3月下旬に発行されるハーモニカ4月号に掲載いたします。他の記念行事は、各担当部局長が所管業務に関し計画中ですが、次のものが決定済みです。

- ① 創立以来40年間に亙る当連盟の活動を記録した記念誌を、2019年6月ごろ発行し、団体会員を含む全会員に配布する。同時に団体会員にも7月号ハーモニカを贈呈する。
- ② 会員のうち功労者に、感謝状を贈る。当連盟の創立以来40年の間に、ハーモニカの普及発展及び当関西ハーモニカ連盟の発展に大きく寄与されたに方々に、創立40周年記念式典の席上、感謝状を贈る。
- ③ 2019年度(2019年1月～12月)の新入会者の入会金及び新入会団体の入会金を免除する。
- ④ 記念コンサートとして、5月5日(土・祝)に「40周年記念スプリング・コンサート」を開催する。

2019年度 研修会のご案内

研修部長 小林由美子

2019年度も下記の内容で研修会を実施いたします。皆さん、奮って参加くださいますようご案内いたします。

会 場：愛日会館
 大阪市中央区本町 4-7-11
 電話 06-6264-4100
 研修時間：14:00～16:30（毎回）

参 加 費：会場にてお支払い下さい。
 会員 1,500 円、非会員 2,500 円
 人 数：80 名（先着順、予約が必要です）
 申 込 先：丸山茂生
 TEL/FAX 072-793-7164

第 1 回

<日 程> 5月19日（日）
 <講 師> 水野隆元
 （複音ハーモニカ奏者）
 <内 容>
 テーマ：音楽を進行させるということ
 （演奏に於ける、最重要事項！）
 <持参していただくハーモニカ>
 C、C#、Am
 <講師プロフィール>
 複音ハーモニカを岩崎重昭氏に師事
 音楽全般を甲賀一宏氏に師事
 F.I.H. JAPAN (1991)、アジア・太平洋（台湾・1996）、世界大会（ドイツ・1997）、
 全てのコンテストにおいて複音ハーモニカソロ部門、第一位
 現在、作曲家と共に、複音ハーモニカのオリジナル曲を残すことを目的に活動
 日本ハーモニカ芸術協会理事、師範、複音ハーモニカコンクール審査員、グレード審査員
 関西ハーモニカ連盟特別顧問、西日本ハーモニカコンテスト審査員
 全日本ハーモニカ連盟理事
 F.I.H. JAPAN、及び世界ハーモニカ・コンテスト審査員。

第 2 回

<日 程> 7月21日（日）
 <講 師> 宇佐美 進
 （四国ハーモニカ連盟会長）
 <内 容>
 テーマ： 良い演奏のテクニク
 ① 「ハーモニカ奏法の基本」の復習
 ② 良い演奏をするには
 ③ 良い演奏のテクニク
 2穴奏法・3穴奏法・4穴奏法
 ベース奏法・オクターヴ奏法・分散和音奏法
 歯切れの良い奏法・滑らかな半音奏法
 トリル奏法・マンドリン奏法・ヴァイオリン奏法
 <使用ハーモニカ>
 C、C#、Am
 <演奏曲>
 宇佐美 進編曲集「昭和編」より
 「さざんかの宿」Dmと表示していますが、Amで演奏します。

研修部

第3回

<日程> 9月8日(日)

<講師> 吹上晴彦

(関西ハーモニカ連盟理事長)

<内容> 佐藤秀廊作品集より、「さくらのワルツ」を取り上げ、講師が演奏の思いを伝え、参加者にマスターしていただきます。

<持参していただくハーモニカ>

C、C#、Am

当日、公開レッスンの希望者を数人募集します。ご希望の方はファックスで研修部丸山にお申し込みください。

第4回

<日程> 11月10日(日)

<講師> 津田佳世子

(ハーモニカ振興会専任講師/クロマチックハーモニカ・複音ハーモニカ)

<内容>

テーマ：「複音もクロマチックも、とにかく音が命！体を楽器の一部として最高の音作りを！」

難しい曲を吹かなくても、良い音なら心に響く演奏ができます。呼吸、喉、鼻、口の中などすべてを見直し、美しい音色を響かせましょう。

<持参していただくハーモニカ>

クロマチックハーモニカか複音ハーモニカC

(両方お持ちの方は両方)

<講師プロフィール>

1985年大矢博文氏に師事、ハーモニカ歴30年
1989 ワールド・ハーモニカチャンピオンシップス(ドイツ)トリオ部門、1991 F.I.H. ジャパン・ハーモニカ・コンテスト(東京)ソロ部門優勝

コンクール等の受賞歴が示す通り、超絶技巧を駆使し、「ラプソディ・イン・ブルー」や「子犬のワルツ」等、ピアノでも難しいクラシック曲の演奏も、そのテクニックは輝く。

また、ジャズや演歌などの表現力にも磨きがかかり、成長は著しい。

長年「オジョイメイ・トリオ」のリード奏者として活躍し、現在はソロ奏者として、クラシックからジャズ、童謡から演歌まで、幅広いレパートリーを有し、エンターテインメント性の高いステージでファンを魅了している。現在はクロマチックと複音ハーモニカのそれぞれの良さを生かしたソロコンサートを展開中。また数々のハーモニカコンサートの司会も務めている。



- * 定員を超えた場合は、参加をお断りすることになりますので早めに申し込み願います。
- * 万が一、キャンセルされる場合は早急に連絡をお願いします。なお、当日のキャンセルについては運営の都合上、会費をいただきますのでご了承ください。
- * 申し込みは、一枚の申込書で複数回の参加申し込みが可能です。
(申込書は右のページ)

関西ハーモニカ連盟 研修会申込書 (個人)

(会員番号) _____ (氏 名) _____

(連絡先電話) _____ () _____ — _____

ご希望の回を選んでください。(一度に複数回申し込み可能です)
 (第1回 第2回 第3回 第4回) 研修会に参加する。

関西ハーモニカ連盟 研修会申込書 (団体)

(会員番号) _____ (教室：サークル名) _____

(代表者名) _____

(連絡先電話) _____ () _____ — _____

ご希望の回を選んでください。(一度に複数回申し込み可能です)
 (第1回 第2回 第3回 第4回) 研修会に参加する。

(団体会員氏名欄) 参加者計 人

2018年度第2回研修会報告 佐藤秀郎作品より「お江戸子守唄」

源馬英人

本格的な夏に入った2018年7月15日(日)、関西ハーモニカ連盟主催の第2回研修会が愛日会館で開催されました。今回は当連盟理事長の吹上晴彦先生が講師として壇上に立たれ、佐藤秀郎ハーモニカ独奏曲の中から「お江戸子守唄」を課題曲に選び、作品の解説とその奏法について、詳しく具体的な指導をされました。また、休憩を挟んで後半は公開レッスンが行われ、有志の会員三名が実際に曲を演奏した上で、先生から個人指導を受けました。



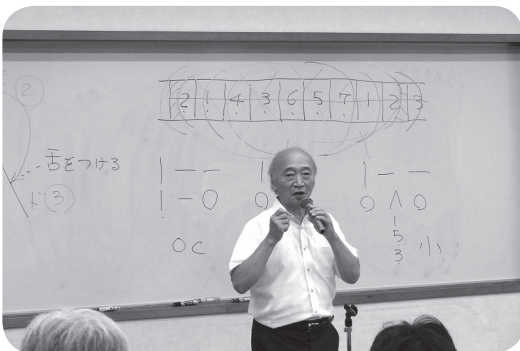
最初は「お江戸子守唄」の解説です。吹上先生は、ハーモニカ独奏曲としてのこの作品の位置づけと、日本古謡としてこの曲が有する文化的意味という、二つの角度から解説をされました。まず、独奏曲としての「お江戸子守唄」については、様々な技法を使えるようになった人が最初に挑戦すべき曲の一つであることから、複音ハーモニカの演奏技術を磨く上でこの曲が持つ重要性を指摘されました。

一方、日本古謡の観点からは、子守唄の分類との関連でこの作品についてお話をされました。一般に「子守唄」と呼ばれる歌を大別すると、

幼子を寝かす時に歌う「子守唄」と、子守役の子供が自身を癒やすために歌う「守子歌」という二種類に分けられます。有名な「五木の子守唄」は後者の代表的な例であり、一方、「お江戸子守唄」は、「ねんねんころりよ/おころりよ/坊やが良い子だ/ねんねしな」という歌詞が示すとおり、前者の代表的な例だとのことでした。

さて、上記の基礎知識を踏まえた上で、いよいよ演奏の指導が始まりましたが、吹上先生はどの曲においても、先ず最初の作業として作品をしっかりと分析することの重要性を説かれます。楽譜を見ていきなり吹き出すのではなく、楽譜を精査し、どういう歌詞を持ち、何を訴える曲であるのか、どのような構成や展開になっているのか—これらをよく理解することにより、その作品に対する姿勢と演奏法が決定されるのだということです。

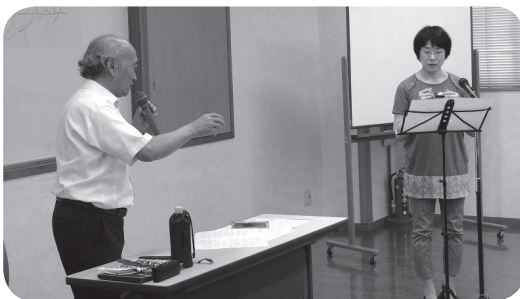
構成的に見ると、「お江戸子守唄」は、前奏(カデンツァ)、第一部(ベース奏)、第二部(分散和音奏)、第三部(バイオリン奏)、後奏、という五部構造になっており、それらが同パターンのつなぎで連結されているので、各部をそれぞれの奏法を活かして美しく演奏するとともに、つなぎにも細心の注意を払う必要があります。唄自体は詞も曲も短いものですが、様々な奏法を使い分けることで変化に富んだ世界を展開していることに留意するよう、先生は促されました。





ここからいよいよ、実際の演奏指導です。まず最初に受講者全員で、様々な奏法を使わずに主旋律だけを吹きました。これは、曲の感じを掴むために大切なことなので、どの曲を演奏する場合にも実践すべきだ、とのこと。また、各部のテンポについても詳細な分析が紹介されました。吹上先生は、前奏はカデンツァなので拍は自由に任されているが、音符間の比率は守られなければならないと指摘された上で、アクセントとフェルマータの付いた装飾音「ラ」の扱いも含め、演奏者各自が一定の秩序を維持しながら、音楽的に美しく均整の取れたカデンツァに仕上げればよいのではないか、との見解を示されました。テンポの変化に関しては、先生の場合、前奏を若干ゆっくりめに吹いた後、導入部から第一部は原曲（♩=72）に合わせて少し速めに演奏し、第二部の分散和音奏に入る前に若干テンポを緩め、第三部のバイオリン奏の前でさらに緩めて演奏されるとのことです。どれだけテンポを緩めるかは、それに続く部分をどの程度の速さで吹きたいかによって決まるとのことです。

続いて構成部ごとの具体的技法の解説に入りましたが、今回の研修会でも非常に多くの貴重なご指導を頂きました。紙数の制限上、要点の



いくつかを箇条書きにして紹介します。

★ベース奏法で留意すべき点は、必ず旋律の単音を出した後に舌を離してベースを入れ、再び舌を付けて単音に戻らなくてはならないということである。これは後打ちベースだけでなく、同時ベースにも当てはまる。

★大ベース、小ベース、オクターブ・ベースを正確に使い分けること。三種類のベースを上手に駆使することにより、曲想がぐっと深まる。

★楽譜には演奏の助けとなるヒントが随所に記されている。強弱記号や様々な演奏記号、具体的指示などをしっかり読み取り、編曲者の意図を尊重して演奏すること。

★同型反復の場所では、同じ吹き方を繰り返してしまうと音楽性が損なわれる。どのように吹き分けるべきか、各自がよく考えて演奏してほしい。

★三度奏やバイオリン奏では、自分がどのような音で何を表現したいのかを絶えず意識しながら、口の形や息の使い方に細心の注意を払い、美しい音を出すよう努力すること。

★オクターブ奏では厚く豊かな響きを出すために、ハーモニカを広くくわえるようにする。

吹上先生のお話につき、休憩を挟んで公開レッスンが行われました。今回は当連盟会員の内田常雄氏、新田真理氏、角野まゆみ氏の三名が生徒となり、それぞれに情熱と技量のこもった演奏をされた後、さらなる芸術性向上のための指導を先生から受けられました。

そして本研修会の最終イベントとして、吹上先生による模範演奏が披露されました。ご講演の内容が見事に反映された、さすがの名演奏に開場の一同は聞き惚れ、爽り多い第2回研修会は無事に幕を閉じました。



☆☆ ハーモニカ カレンダー ☆☆

2018年11月15日現在 関西ハーモニカ連盟 編集局



日 時	演奏会及び演奏者名(敬称は略)	会場・お問い合わせ先
12月23日(日)	お笑い神事 もり・けん童謡演奏奉納	東大阪市 枚岡神社
12月25日(火)	関西芸能演奏会(関西芸能振興会主催) 寺村安雄出演	池田市民会館アゼリアホール 【問】寺村安雄
2019年		
1月12日(土) 12:45～	あつぎハーモニカコンサート2019	厚木市文化会館大ホール
1月13日(日) 13:30～	梁木進主催 新年ハデコン・コンサート	新大阪ココプラザ 2Fホール 入場1,000円 【問】梁木進
1月14日(月祝) 13:00～17:00	梁木進 複音ハーモニカ公開講座	ふんふんさろん 1,000円 【問】梁木進
1月20日(日) 13:00～	春待ちコンサート レット・イット・ビーが出演	堺市 サンスクエア堺 チャリティー入場料500円
1月21日(月)	連盟常任理事会	ふんふんさろん
2月4日(月)	連盟常任理事会	ふんふんさろん
2月10日(日) 13:00～17:00	梁木進 複音ハーモニカ公開講座	ふんふんさろん 1,000円 【問】梁木進
2月11日(月祝)	関西ハーモニカ連盟定時総会 (P2参照)	大阪市西区 徐園
2月11日(月祝)	徳永教室発表会	心齋橋 国際楽器4Fホール 【問】徳永延生
3月10日(日) 12:30～17:00	梁木進 複音ハーモニカ公開講座	新大阪ココプラザ 101号室 1,000円 【問】梁木進
3月10日(日) 10:00～16:00	第11回梅田恒弘ハーモニカ教室演奏発表会	宇治市文化センター小ホール 入場無料 駐車無料
3月10日(日) 13:00～17:00	第14回ハーモニカの集い(木原淳)	宇治市 ふりーすぺーす宇治日和 入場無料 出演500円 【問】木原 0774-23-6631
3月25日(月)	連盟常任理事会	ふんふんさろん
3月31日(日) 13:00～17:00	梁木進 吹きまくり	ふんふんさろん 1,000円 【問】梁木進
4月7日(日) 13:00～17:00	梁木進ココプラザ教室発表会	新大阪ココプラザ 2Fホール 入場無料
4月14日(日) 9:30～	ハモニ館まつり	新大阪ココプラザ 2Fホール 入場無料
4月19日(金)	日本ハーモニカ芸術協会総会・研修会	東京 ラングウッドホテル

日 時	演奏会及び演奏者名(敬称は略)	会場・お問い合わせ先
4月20日(土)	全日本ハーモニカ連盟フォーラム	東京 ラングウッドホテル
4月22日(月)	連盟常任理事会	ふんふんさろん
5月5日(日祝)	連盟主催 創立40周年記念スプリングコンサート	大阪市淀川区 メルパルクホール
5月12日(日) 13:00～17:00	梁木進ハーモニカ教室発表会	狭山さやかホール 入場無料
5月19日(日)	連盟主催 第1回研修会 講師 水野隆元 (P15 参照)	愛日会館
5月27日(月)	連盟常任理事会	ふんふんさろん
6月2日(日) 15:00～	関西ハーモニカ連盟 創立40周年記念式典・ パーティ (P14 参照)	大阪市西区 徐園
6月24日(月)	連盟常任理事会	ふんふんさろん
6月30日(日)	日本ハーモニカ芸術協会 関西支部連合会コンサート	いたみホール
7月21日(日)	連盟主催 第2回研修会 講師 宇佐美 進 (P15 参照)	愛日会館
8月26日(月)	連盟常任理事会	ふんふんさろん
9月1日(日)	堺市芸能百華 堺自由の泉大クロマチック コースが出演	堺フェニーチェ大ホール
9月8日(日)	連盟主催 第3回研修会 講師 吹上晴彦 (P16 参照)	愛日会館
9月30日(月)	連盟常任理事会	ふんふんさろん
10月19～20日 (土日)	連盟主催 創立40周年記念関西ハーモニカ 祭り	京都府長岡京市 長岡京記念文化会館
11月10日(日)	連盟主催 第4回研修会 講師 津田佳世子 (P16 参照)	愛日会館

過去のイベントはホームページの『会報バック No 目次』をご覧ください。

<http://harmonika-renmei.studio-web.net/>

【問】：問い合わせ先 【WEB】：WEBのカレンダーもご覧ください。

●問合せ先(順不同)

徳永延生.....06-6934-7266
 事業部梁木進, H企画梁木.....090-8655-6045 FAX 072-286-4890
 ハモニ館 吹上晴彦.....0798-22-1844 (FAX 共通)
 寺村安雄.....072-297-5737 (FAX 共通) 090-9092-8814
 吉村則次.....072-251-9398
 もり・けんプランニング.....090-1485-6877 (東)
 ふんふんさろん.....06-6352-8005 FAX 06-6353-1393



「関西ハーモニカ連盟創立40周年で想うこと」

組織部長 梅田恒弘

漫談家：綾小路きみまろの売り言葉に「あれから40年」と云うのがあります。一口に40年と言ってもこの移り変わりの速い時代では、科学・文化・芸術・・・私たちの日常生活・・・人の心までが急速に変化をし、想い起こすと様々なことがありました。

関西ハーモニカ連盟が創立された1979年(昭和54年)には、Sonyから携帯音楽プレーヤーが売りだされ「ウォークマン」の名称で一世を風靡したものです。私事ながら、その2年前の1977年(昭和52年)、東京文化会館で開催された全国佐秀会合同大演奏会でのハーモニカ演奏が、私にとっては初めての舞台でした。大変懐かしく、ついこの間だったように思われます。

しかし翻って想うと、やはり40年という年月は非常に長いものです。1979年に創立された当連盟は、発起人のご努力と初代の理事長：井上隆寿、事務局長：平口謙二、会計部長：板村忠重の先生方による強力なリーダーシップとハーモニカを本当に愛する当初会員44名の皆様の団結と協力によって次第に内容も充実・発展し、だからこそ今の「関西ハーモニカ連盟」があるのです。

そしてこの度は、こうして創立40周年記念事業が盛大に行われることを会員一同で心から慶び合いたいと思います。

現在は編集局のご努力で立派な会報「ハーモニ」が発行されていますが、その前身と云える「関西ハーモニカ連盟ニュース」は、平成8年まで頼引きした原紙をガリ版に載せて鉄筆で文字を書き謄写版で印刷する、いわゆるガリ版印刷で発行されており、現在の「ハーモニ」を見ると印刷技術の発達にも隔世の感がいたします。

そんな時代を経て「あれから40年」・・・仲村 眞会長、吹上晴彦理事長を軸にした現体制になり、今や会員(※1)は1,000名に迫り、活動体制も充実し(※2)、全てが順調に機能して様々な事業がなされています。

主なものは①毎年秋の「関西ハーモニカ祭り」、②隔年開催の「西日本ハーモニカコンテスト」、③同じく隔年開催の「関西ハーモニカ連盟:合宿・交流会」、④スプリング・コンサート、⑤会報「ハーモニ」の年4回発行などです。これらを実施するに当たってはそれぞれの事業について数回にわたり常任理事会で真剣な検討がなされること、また表には出ない多くの裏方たちの献身的な協力と努力もあることをよく知っていただき、いろいろな行事には積極的に参加していただきたいと思います。

私の好きな詩人で書家でもある“相田みつを”の「批判はしたけれど自分にできるだろうか」という格言があります。

今後とも建設的な忌憚りの無いご意見を執行部へお寄せくださり、共に考えながら、私たちのこの「関西ハーモニカ連盟」の更なる充実と発展を目指してお互いに協力をし合ってゆきたいものです。

(※1) 個人会員・団体会員・準会員・地域外個人会員・賛助会員

(※2) 事務局・事業部・編集局・研修部・組織部・会計部

尼崎文化センター 金曜教室

代表 新山ミツ子

所在地 尼崎総合文化センター
 尼崎市昭和通 2 丁目 7
 電話 06-6487-0808
 指導者 新山ミツ子
 練習日 毎月金曜日 午前
 会員数 21 名 (女性 14 名、男性 7 名)
 年齢 平均 73 歳くらい



尼崎総合文化センターでハーモニカの教室が始まったのは、阪神大震災 (1995/1/17) の年の 1 月からと聞いています。西田幸司先生が指導者としてスタートしましたが、ご体調の都合で私が引き継いで 13 年になります。

教室では年 2 回の合同発表会、5 月のエコーズ神戸の発表会、秋の連盟のハーモニカ祭りと一年に最低 4 回、合奏で出演しています。その他の活動も含めると忙しい状態です。教室が終わったあとは用事のある方はその時々で抜けながらも皆でランチとおしゃべりタイムを楽しんでいます。今日はやめようという日はありません。

練習の曲選びは、リズムの面白いのも取り入れようと、以前の研修会で配られた白鳥先生や徳永先生の資料を使い、立ち上がって足踏みをしながら長さとり、例えば下のようなリズム練習をします。このような練習によって「乾杯」「サライ」などを正確なリズムで気持ちよく演奏できるようになります。これからもシンコーペーションでリズムがちょっと難しいけれど吹き甲斐の

ある曲も一つずつ取り入れつつ音楽を楽しんでいきたいと願っています。

教室でこの一年間、吹き流してきた歌謡曲は「雨の慕情、喝采、帰ろかな、居酒屋、二人でお酒を、東京ナイトクラブ、君こそ我が命、今日でお別れ、東京の花売り娘、よこはまたそがれ、北の旅人、そして…めぐり逢い、夜のフェリーボート、古城、チャンチキおけさ、湖畔の宿、矢切の渡し、黄昏のビギン、夢芝居、愛しき日々、酔歌」などです。



4/4 | 5 · 5 5 5 5 | 5 · 5 0 5 5 | 5 5 5 5 | 5 - · 5 5 |
 | 5 5 5 5 | 5 - 0 5 5 | 5 5 5 5 | 5 - - 0 ||

(ワンノートサンバより)

4/4 | 0 0 7 6 5 | 5 · 5 0 0 7 | 7 6 5 6 7 | 7 · 5 0 0 |
 | 0 0 7 6 5 | 5 · 5 0 0 7 | 7 6 5 6 7 | 7 · 5 0 0 ||

(ウオーキングリズムトレーニングより)

和泉フィルハーモニカ

代表 中谷 晃

所在地 (練習場) シティプラザ
コミュニティーセンター

指導者 中谷 晃

練習日 毎週土曜日(月4回) 13:00～16:30

会員数 18名(女性12名、男性6名)

年齢 平均70歳前半(入会資格60歳以上)

久しぶりにお仲間入りさせていただき、故郷へ帰ったような気持ちです。でも関西ハーモニカ祭り2日目が中止になってしまって残念でした。それにつけても役員の皆様、スタッフの皆様、大変だったと思います。本当にお世話になりました。

和泉フィルの“フィル”はギリシャ語で“愛好”の意。団体紹介ということで、私どものちょっと違った点を書かせていただこうと思います。

- 1) 楽譜は五線譜を使っています。
- 2) ハーモニカは現在、複音のC・C#・A・A#・G。男性はその他にバリトンハーモニカを所持。総てメジャーを使っております。
- 3) 今も心に残る名曲のメロディーを楽しく…。
- 4) ハーモニカを同時に2本使用する場合、演奏者の技能、それに限られたハーモニカで演奏する無理があります。そういった無理を少しで

も軽減できればと独自の持ち方をしています。例えば、CとC#を使用する時、C#は右手に、Cは必ず左手に持ちます。

右手は、中指を充分伸ばしてC#の底面に当て、上は拇指で、人差し指はハーモニカの前面を。その3本でしっかり持ち、左を上下して口に持っていくようにし、必要ない時は目立たないように下げおきます。左手は、人差し指をしっかりと伸ばして、拇指とでL字形にCを持ち、右端をC#の裏側で軽くにぎった薬指の上に押し込むようにし、拇指の腹とで支えます。

2本のハーモニカをこのように持つことで、違った調のハーモニカでも右左にずらすことによって、#を併用する時と同じ感覚で演奏できます。例えば「荒城の月」をCの低音部で演奏する時、Aを2穴左にずらして併用すれば、Cで出せない7、6をAの2、1で補うことができます。同様に「城ヶ島の雨」のような場合、4本使用を2本で持ち替えることなく演奏できます。

5) 昨年11月、和泉フィルハーモニカ第13回定期演奏会を了えましたが、毎回お出で下さった方々にアンケートを感想を書いていただいています。良かった時も、悪かった時も、それを大きな糧とさせていただきます。



川西市清和台の「ふれあい広場」に出演

福田徹士



「朝日カルチャー川西」のメンバーは11名で今年米寿を迎えられた大先輩を中心に平均年齢77歳の仲間がハーモニカの技術を磨き合っています。この私達の活動状況が地域の自治会に知られて、数年前から演奏会に出演するようになりました。私達もこれを機会に一層腕をあげようという励みになっていました。

今回は2018年6月6日(水)に川西清和台コミュニティ推進協議会から依頼を受け、介護施設の定例会の催しに出演しました。観客は施設の患者さん、ボランティアの方々など約70名が集まる慰安演奏会となりました。

狙いは、日頃娯楽の少ない患者さんたちと一緒にになってカラオケの合奏をやり若返ってもらおうということです。それにプラス、私達の独奏や合奏でハーモニカの素晴らしさを味わってもらい、ハーモニカを吹きたいという希望者が現れないかとPRすることです。

選曲は、会場の方からも希望曲を募りそれらを織り交ぜてスタート。オープニングで「青い山脈」をみんなで大合唱、それから「高校三年生」、

「瀬戸の花嫁」と会場を盛り上げていきました。「琵琶湖周航の歌」、「知床旅情」、「見上げてごらん夜の星を」、「川の流れるように」と心に沁みる歌も交えて会場は一層燃え上がってきました。

独奏では一本のハーモニカであらゆる奏法を織り込んだ「出船夜想曲」を披露、会場から大きな喝采を受けました。女性群による「おぼろ月夜」の合奏も会場を和ませてくれました。会場からはアンコールも出て盛り上がっていることが実感でき嬉しくなりました。

次はアメリカ海軍の行進曲「錨を上げて」の合奏です。私達川西グループの心意気を示すべく力強い合奏が出来ました。

最後は「ふるさと」を3番まで合唱して、1時間がアツと言う間に過ぎ、余韻が残るお開きとなりました。

私達にとってもこの日に向かって練習し、機会があれば又出演してもいいなど意欲的な意見も出て、頼もしい「川西グループ」に変身しました。



八重二館 第11回夏季宿泊研修会

2018年8月26日(日)～27日(月)

角野まゆみ



毎年恒例の夏季宿泊研修会が「メイプル猪名川」で行われました。台風12号の為、順延となり昨年より20人程少ないながらもおよそ40人が参加しました。

テーマは「ハーモニカ語り話す演奏法！」スケジュールは基礎練習を行った後、課題曲4曲の中から1曲、二重奏曲1曲を成果発表します。

研修一日目

到着したら順次、名札とテキストが配布され着席。テキストには過去10回の研修会のテーマと課題曲が書かれてあり、それだけで身構えてしまいます。まずは恒例の1分間自己アピール。ハーモニカを吹いて自己紹介します。初参加の私には最初の大きな試練でした。

次はテキストに沿った基礎練習。受講者の心構えとして吹上先生からは「心のコップを空にして、そうだと信じて聞くと素直に入っていく」。小林先生からは「ハーモニカはそばにいつでも吹ける、かわいくとても厄介だけど、愛おしむ気持ちを抱いて」と。何でも吸収しようという大切な学びの姿勢を教わり心の準備はOK。

基礎練習の方法としてポイントは2つ。①音

に集中する＝自分を高めるために意識する②メトロノームを友達にする＝メトロノームに併せて吹くのではなく指針にする。練習はうそをつかない。けれども無意味な練習は効果がない。練習できない時も頭の中で音をまわす。常に自分の音を意識し確認する。それが上達して喜びへとつながっていく、と。

基礎練習の次は課題曲の奏法の解説があり、瞬間に日帰りされる方の

演奏の時間となりました。両先生からは「自分の得意なところを伸ばして、苦手なところを少しずつ克服していくように」「自分に合った練習法を取り入れる」と、本人の気づかない長所等的確なコメントを言われました。

その後恒例のプレゼント曲「夢芝居」「おふくろさん」を披露されました。

写真撮影の後は楽しい夕食～自由参加のカラオケタイム～三次会へと深夜まで、同時に各部屋ではハーモニカ談義や課題曲の練習とハーモニカ三昧の一日でした。



研修二日目

ボリューム満点の朝食の後、講義が始まりました。まずは二重奏のペアを決め演奏についての説明を受けました。そして前日の基礎練習をさらに掘り下げた実践を行います。両先生が一人一人の音色をチェックして回ったあと、C・C#の練習にと「ピア樽ポルカ」を全員で吹きました。課題曲「思い出のアルバム」「雪山讃歌」「月見草の花」「人生劇場」は事前に配布されています。いずれの曲も吹き込んでこそその曲ゆえ、にわかな取り組みでは遅いと実感。各人の練習量が今日の研修の成果につながることをさらに痛感しました。

昼食をはさんで課題曲の奏法解説と実践。2度の休憩の合間には二重奏「夏の思い出」を練習。そして成果発表が始まりました。両先生からの細やかなコメントは、一人一人を温かいまなざしで見られると感じました。続いて二重奏の発表です。初顔合わせのペアが互いの息を感じたり、目を見たり、身体で表現して演奏する様子は、楽しくとても新鮮に感じました。

さらに西日本ハーモニカコンテスト等で受賞

歴のあるお二人が演奏されました。岸元彩さんによる「火祭りの踊り」、小林希久子さんによる「黒田節」、若い二人の秘めたエネルギーを感じる演奏に聴き入りました。両先生からのプレゼント演奏は2日前に仕上がったばかりの「さだめ川」「おふくろさん」です。前日の「夢芝居」は特別曲でした。宿泊者は2度聞くことができました。

「語り話す演奏」とはその曲を思っている時間の多さや与えられた演奏時間を精一杯自分を高めて演奏することによるのではないかと感じとりました。

こうして夏季研修会は終了しました。本部のサポートに加え両先生には事前準備、手配、講義さらに帰りのバス組へのお見送りまでしていただき大変お世話になりました。バスの中では安堵と名残惜しさゆえかおしゃべりに花が咲き、まだ余力のあるハーモニカ仲間たちがとても頼もしく思えました。来年もまたハモニ館の仲間たちと再会し共に学ぶ機会があることを楽しみにしています。



最年長の仲井治夫さん(右)



ハーモニカカルテット「ハートーン」 近況報告

堤 大志郎

2018年8月20日(月) 東大寺本坊大広間

やって来ました！東大寺。およそ50年前に訪れた高2の修学旅行を懐かしく思い出すものの、記憶にあるのは鹿と大仏のみ。今日から“童謡誕生100年記念「合掌合唱」”と称する6日間の東大寺による開催事業で、会場は本坊大広間。童謡関係なら何でもOK。参加者は82組、この日は13組で東京など遠方からも来ている。

我々ハートーンは「夕焼けねんね」(「夕焼けこやけ」と「ねんねのお里」のメドレー曲)を演奏。進行役のお姉様は「素晴らしい！ハートーンさんスゴイ！！」とハイテンションで興奮気味にベタ褒めでしたが、かなりオーバーでは？でも悪い気はしない。頑張ってくれてありがとう！と感謝。



2018年10月10日(水) 京田辺市役所ロビーコンサート

この日はわが町、京田辺市役所でのロビーコンサート。来客は40人程かな？「エッ、天候不順とは言え、2月の宇治市民交流ロビーコンサートでは来客249名(宇治市役所調べ)だったのにこの差は何？…でも、どこかの往年の大物歌手じゃないからドタキャンはしない。ガンバロー！」全部で7曲、30分間の演奏。

1曲目は「君恋し」、やっぱり皆、緊張気味。なんとなくぎこちない。客数に関係なく緊張してしまう。2曲目、3曲目と進むうち徐々に落ち着きいつもの感じに。最後の「三百六十五歩のマーチ」だけは日本ハーモニカ賞受賞者の保理江さんのソロ。舞台、客席全員の手拍子と鼻歌で盛り上げて無事終了。

この様子は地元のケーブルテレビが録画し、「洛タイ新報」とかいう地元の新聞社も取材に来ていました。そして演奏後のアンケートには「たった4人で小オーケストラの世界に引き込んでいただいた気がします。すばらしいコンビネーション！」「年齢を感じさせない、すばらしい」「ハーモニカの和がとてもステキ」等々うれしい感想ばかり。やっぱりわが町京田辺の人たちは皆優しい。

その後10月18日(木)、19日(金)にも地元の公共施設で演奏し、好評を得た…つもり。む・か・し・若い4人のハーモニカカルテット、ハートーンは今…売り出し中！…かな？

レトロな音色ハートに届け

京田辺市ハーモニカ四重奏 会場包む

京田辺市役所の市民ふれあいロビーコンサートがこのほど開かれ、ハーモニカの音色が来庁者を楽しませた。

市民に気軽に音楽に親しんでほしいと定期的に開いている。今年が88回目。2015年12月に同市や城陽市のアマチュアメンバーで結成し、幼稚園や公共施設で演奏活動をしているハーモニカカルテット「ハートーン」が出演した。

世界で一般的な「クロマチック」、日本では「ソラマテ」など、さまざまな音のある「複音」は、世界で一番大きな穴の「バス」、世界で一番小さく192の穴で48の音を奏でる「ゴード」の4本のハーモニカを巧みに使い、「三百六十五歩のマーチ」や「緑路は眺くよどこまで」などを披露した。

大人から子どもまでが親しめる楽曲が、どこか懐かしさを感じるレトロな音色で響き渡ると、集まった住民や市職員はほほほのとした心ときを過ぎていった。

次回は12月26日(水)に予定し、同志社女子大音楽学科の学生がフルート演奏を届ける。また、市の公式フェイスブックではロビーの様子を動画で公開している。

「ハートに音色が届くように」とネーミングした「ハートーン」

「洛タイ新報」 2018.10.19(金)

吉村クロマチック教室合同発表会 徳永延生氏ほかをゲストに迎え、第10回を盛大に開催

吉村則次

毎年秋に開催している掲題発表会、第10回という記念すべき回を、2018年11月4日（日）に、いつもの堺市北野田フェスティバル・フラットホールで盛大に開催いたしました。プログラム数49、演奏人数延べ157名。

今回は、記念すべき第10回ということで、ゲ

ストとして徳永延生氏（プロ奏者、当連盟特別顧問）ほか、岡直弥氏、中村淑子氏、井上文氏、アヨリズム（2018年の当連盟主催の西日本ハーモニカコンテスト、デュエット部門優勝）という素晴らしい奏者をお迎えしました。



「レット・イット・ビー」9名のアンサンブル



ゲスト徳永延生氏
(当連盟特別顧問)の演奏

三重県ハーモニカ協会 第17回定期演奏会を終えて

三重県ハーモニカ協会理事 永野富康

久しぶりに三重県ハーモニカ協会の現況報告をさせていただきます。同協会の第17回定期演奏会は2018年10月14日（日）、津市お城ホールで開催致しました。

会員30名とゲストお一人とで22組（グループ合奏3組、デュオ3組、4重奏1組、独奏15組）。曲目は「アイネクライネナハトムジーク、小さい秋見つけた、恋のしずく、百万本のバラ、出船夜想曲、宵待草」など32曲の演奏が行われました。

オーソドックスながら、みんな丁寧な演奏を心掛けたのが効を奏したようで、好意的な盛んな拍手を頂きました。さらに好評だったのが、

当会で初めてのゲストの村上慶子師範（名古屋市在住）に、「ラ・クンパルシータ」他3曲をご自身のアレンジによる、華やかな演奏で花を添えて頂きました。今後、全国的に活躍が期待されます。

帰りのロビーでは、“良かったー”と声掛けをして頂くリピーターの方々の沢山の笑顔が見られて、疲れを忘れました。

演奏会とは別途にボランティア活動を励んでいます。鈴鹿市の社会福祉協会から活動内容を評価いただき、2度目の表彰を近く頂くことになりました。これからも、できるだけ長く続けていきたいと会員一同張り切っています。

「ブルースターズ創立 10 周年記念演奏会」によせて

ブルースターズ代表 雑賀 健

ブルースターズは、同好会として平成 20 年 3 月 20 日に 6 名でスタートしました。創設者は村上浩一先生の教室「尼崎ハーモニカエコーズ」の元副会長齊藤稔さんと、有志に声をかけて、西宮市立高木公民館で発足しました。その後、平成 27 年 5 月に齊藤さんから、現在尼崎ハーモニカエコーズ副会長の雑賀が引き継いで会員 10 名で、毎月 2 回第 1、第 3 木曜日に同公民館で練習を行っております。村上浩一先生のご了承を得て先生編曲の合奏曲を中心に、年間約 20 曲を目標に練習しております。10 名のメンバーはそれぞれ他の 2～3 グループにも所属しているハーモニカ大好き人間の集まりです。

昨年は、ブルースターズ創立 10 周年に当たり、西宮市市民文化祭の一環として高木公民館に於いて、2018 年 10 月 18 日(木)に 10 周年記念ハーモニカ演奏会を行いましたのでここに紹介させていただきます。

私たちはこれまで関西ハーモニカ連盟のハーモニカ祭り他、公の演奏会には参加しておりませんが、尼崎ハーモニカエコーズのメンバー 4 名がおりますので、同教室の発表会「たのしいハーモニカコンサート」には毎年出演させてもらっております。そのほか依頼されてボランティアでデイサービスや老人会等へ演奏に出かけて、日ごろの成果を発表しております。



複音クロマチックとは何か

吉村則次

複音クロマチック・ハーモニカというものが、世間にはあるようです。普通のクロマチック・ハーモニカでは、クロマチック（半音）スケールの一つ一つの音が一枚のリードによって鳴らされる（シングルリード）のに対し、複音クロマチックでは、吹き口（マウスピース）は、普

通のクロマチックと全く同じで、一つの音が 2 枚のリードによって、トレモロの音を出せるように仕組みられたものです。したがって、16 穴複音クロマチックでは、リードの数は、128 枚となる。トンボのユニカ No.1244（複音配列）クロマチックは、吹き口と音の並び方が日本式配

列（21穴複音ハーモニカと同じ）で、レバーがついて半音上の音も出せるというもので、シングルリードなので、これは複音クロマチックの範疇には入りません。私が知っている限りでは、複音クロマチック・ハーモニカは、次の3件があります。

- 1) アメリカのジョン・インファンデという人が手作りで作ったもので、市販の16穴クロマチックを2台を上下に配置し、特別に作られた1個のマウスピースから両方の穴に空気が流れるように仕込まれたもの。チューニングは、ミュゼット・チューニングで、ジェリー・ムラッドがシャンソンを演奏するときに使っていました。その演奏画像は持っていますが、市販はされていません。
- 2) 南部信喜氏という方が考案したものです。会報2018年7月号p22に記述があります。南部氏は昭和29年に42歳で亡くなられていますので、私がハーモニカを始める以前の方なので、現物は見たことがありません。どういう仕組みになっているものか見てみたいものです。ご存知の方はお知らせください。南部信喜氏からハーモニカを習われていた池田輝樹氏も現物をお持ちでないそうです。
- 3) 鈴木楽器製作所が「トレモロ・クロマチック・ハーモニカ」SCT-128（55,000円）というものを製作し、現在も売られているようです。同社のカタログにも掲載されていますが、「受注生産」と注記があります。普通の複音ハーモニカの場合は、少しピッチをずらした2枚のリードが、上の穴と下の穴に別々に配置されていますが、このトレモロ・クロマチック・ハーモニカは、リードプレートの上に、リード2枚を「手前・後ろ」に直列に並べて配置し、2枚のリードが同時に鳴るように設計されています。従って、ハーモニカのリードプレートの奥行きが必要で、低い音の部分の奥行きが長くなっています。

上記いずれのものも、2枚リードのため、息が多く必要のようです。鈴木のは、同じプレートの上に、手前・後ろにピッチが異なる2枚のリードが配置されているので、それぞれのリードに空気が到着するまでに時間に差が出るので、音もそのようになるとも聞いたことがあります。また、上の1)に述べた、ジェリー・ムラッドが使用していたものは、一つの吹き口から上下に重ねられた2個のクロマチックに息を送るので、どうしてもマウスピースからリードまでの距離が生じますので、息を入れ始めてから音が鳴り始めるまでに時間がかかり、また当然ながら息の量が必要なようです。

鍵盤ハーモニカを、①吹き口なしで、②普通のマウスピースをつけて、③長いビニールのチューブをつけて、の3通りで試してみてください。口からリードまでの距離が、いかに音質を左右し、鳴り始めが遅れるかが分かります。普通の複音ハーモニカは、2枚のリードが口から同じ距離であり、その上、短い距離であるので、この点では一番有利です。

スライド式クロマチック・ハーモニカは、複音クロマチックに限らず、唇とリードの間に金属のマウスピースとスライドがあるため、口からリードまでの距離は、複音ハーモニカに比べて長くなる。だから複音ハーモニカに比べ、鳴りにくいということではないかと思います。



あこのころの歌 40年前の歌を吹いてみませんか

吉村則次

当連盟は40年前の1979年6月2日(昭和54年)に創立されたのですが、その頃どういう歌が流行っていたのでしょうか。創立40周年を迎える時に、その頃の歌を吹いてみるのもいいと思いますが。次のような歌が作曲され、歌われ、流行っていました。

(野ばら社刊「日本のうた」からピックアップ、曲名、歌手、作曲者の順、歌手と作曲者が同一の場合は作曲者名を省略)

1978年 昭和53年

- 青葉城恋唄 さとう宗幸
- 時間よ止まれ 矢沢永吉
- チャンピオン アリス 谷村新司
- みずいろの雨 八神純子
- 夏のお嬢さん 榊原郁恵 佐々木勉
- ガンダーラ ゴダイゴ タケカワユキヒデ
- 夢一夜 南こうせつ
- 勝手にジンドバッド サザンオールスターズ 桑田佳祐
- 君のひとみは10000ボルト
堀内孝雄
- 微笑がえし キャンディーズ 穂口雄右
- 飛んでイスタンブール 庄野真代
- この空を飛べたら 加藤登紀子 中島みゆき
- カサブランカ・ダンディ
沢田研二 大野克夫
- たそがれマイ・ラブ 大橋純子 筒美京平
- 哀歌 エレジー 八代亜紀 谷村新司
- シンデレラ・ハネムーン
岩崎宏美 筒美京平
- キャンディ 原田真二
- 銃爪 ひきがね 世良公則&ツイスト
- サウスポー ピンク・レディ 都倉俊一
- ANAK(息子) 杉田二郎 Freddie Aguilar
- LOVE(抱きしめたい)
沢田研二 大野克夫

1979年 昭和54年

- おもいで酒 小林幸子 梅谷忠洋
- 舟唄 八代亜紀 浜圭介
- 人生峠 村田英雄 小松原てるを
- 夫婦舟 三笠優子 聖川湧
- おやじの海 村木賢吉 佐藤達雄
- おんなの出船 松原のぶえ 船村徹
- 新宿・みなと町 森進一 西谷翔
- ふれあい 中村雅俊 いずみたく
- わかれ酒 三沢あけみ 渡久地政信
- とまり木 小林幸子 たきのえいじ
- ブランデー・グラス 石原裕次郎 小林充
- よせばいいのに 田辺靖雄 三浦弘
- ビューティフル・ネーム
ゴダイゴ タケカワユキヒデ
- 異邦人 久保田早紀
- 魅せられて ジュディ・オング 筒美京平
- 大阪で生まれた女 萩原健一 BORO
- 愛の水の中花 松阪慶子 小松原まさし
- YOUNG MAN (Y.M.C.A.)
西城秀樹 J. MORALI
- 贈る言葉 海援隊 千葉和臣
- 大都会 クリスタル・キング 山下三智夫
- いとしのエリー サザンオールスターズ 桑田佳祐
- 銀河鉄道999 ゴダイゴ タケカワユキヒデ
- 道標ない旅 永井龍雲
- 順子 長渕剛
- 燃えろいい女 ツイスト 世良公則
- しなやかに歌って 山口百恵 宇崎竜童
- さよなら オフコース 小田和正
- 関白宣言 さだまさし
- 陽はまた昇る 谷村新司
- 夜のめぐり逢い 石原裕次郎/八代亜紀 野崎真一
- 日本全国酒飲み音頭 バラクーダ ベートーベン鈴木
- 亜紀子 小林繁 内山田洋
- 忘れてほしい 渥美二郎 遠藤実



ハーモニカが上達するための大切なこと(最終回)

全日本総合音楽院・院長 全国幼児リード器楽合奏連盟理事長 池田輝樹

一年中の歌

提供：池田輝樹

詞 本 敏 明 作詞
ア メ リ カ 民 謡

♩ = 78 (三部輪唱)

1. おさめとさ う いちが つ つ つ も る ゆ きり
2. さあくくく なな う しちが が が が いたつ の ぼす み
3. ああおおい きな ら ひちう が が が が くなき くの や の はす な
4. ああおおい きな ら ひちう が が が が くなき くの や の はす な

に が つ ひ な ま さ り さ ん が が
ご ー が つ ひ な ま さ り さ ん が が
は ー ち が つ ひ な ま さ り さ ん が が
じ ー い が つ ひ な ま さ り さ ん が が

クリス マス 十二月
青い空 十月
菊の花 十一月
虫の声 九月
夏休み 八月
あつくなる 七月
さみだれの 六月
こいのぼり 五月
さくら咲く 四月
ひなまつり 三月
つもる雪 二月
おめでとう 一月

♪ 2部や3部で輪奏や輪唱を楽しんで下さい。♪

<編集局より 二つのシリーズ連載の終了のお知らせ>

1. 池田輝樹先生の「ハーモニカが上達するための大切なこと」を終了します。今まで18年間71回の連載で私たち連盟会員のために幅広いご指導をいただきました。誠にありがとうございました。最終回として先生から頂いた楽曲を上で紹介させていただきます。
2. 寺村安雄先生の「温故知新」も常任理事会で検討の結果、音楽著作権の問題もあり、本号218号をもって一旦区切りをつけさせていただきます。今後は新・旧を問わず折々に「楽曲の紹介」として会員の皆様からのご寄稿を紹介できればと思います。

2019年は関西ハーモニカ連盟誕生から40年目の節目の年です。各部局におきまして、会員増強に向けて新たな取り組みを模索しているところですが、編集局もお寄せいただいたアンケートのご意見を集計し、新たな企画が求められています。これを機に二つのシリーズを終了することになりました。両先生にはこれまでのご支援に厚くお礼を申し上げます。



(最終回)

Barcarolle

from,
Les Contes d Hoffman
ホフマンの舟歌

Offenbach
Arr. by S. Yoshikawa

Moderato

6/8 *pp* $\dot{5}$ $\dot{0}$ $\dot{6}$ $\dot{6}$ $\dot{0}$ $\dot{5}$ | $\dot{5}$ $\dot{0}$ $\dot{6}$ $\dot{6}$ $\dot{0}$ $\dot{5}$ | $\dot{3}$ $\dot{4}$ $\dot{4}$ $\dot{3}$ | $\dot{3}$ $\dot{2}$ $\dot{4}$ $\dot{4}$ $\dot{3}$ |

pp $\dot{3}$ $\dot{2}$ $\dot{4}$ $\dot{4}$ $\dot{3}$ | $\dot{3}$ $\dot{3}$ $\dot{0}$ | $\dot{3}$ $\dot{4}$ $\dot{4}$ $\dot{3}$ | $\dot{3}$ $\dot{2}$ $\dot{4}$ $\dot{4}$ $\dot{3}$ | $\dot{3}$ $\dot{2}$ $\dot{4}$ $\dot{4}$ $\dot{3}$ |

$\dot{3}$ — • | $\dot{5}$ $\dot{6}$ $\dot{6}$ $\dot{7}$ | $\dot{7}$ $\dot{1}$ $\dot{1}$ $\dot{7}$ | $\dot{7}$ $\dot{6}$ $\dot{6}$ $\dot{5}$ | $\dot{5}$ $\dot{5}$ $\dot{0}$ |

cresc. $\dot{5}$ $\dot{6}$ $\dot{6}$ $\dot{7}$ | $\dot{7}$ $\dot{1}$ $\dot{1}$ $\dot{7}$ | $\dot{7}$ $\dot{6}$ $\dot{6}$ $\dot{5}$ | $\dot{5}$ $\dot{5}$ $\dot{5}$ | $\dot{5}$ $\dot{6}$ $\dot{6}$ $\dot{7}$ |

cresc. $\dot{1}$ — • | $\dot{5}$ $\dot{6}$ $\dot{7}$ $\dot{6}$ $\dot{5}$ | $\dot{6}$ $\dot{4}$ $\dot{0}$ $\dot{6}$ | $\dot{6}$ $\dot{7}$ $\dot{7}$ $\dot{1}$ | $\dot{2}$ — • |

$\dot{2}$ $\dot{6}$ $\dot{7}$ $\dot{1}$ $\dot{7}$ $\dot{6}$ | $\dot{5}$ — • | $\dot{5}$ $\dot{5}$ $\dot{7}$ $\dot{6}$ | $\dot{5}$ — • | $\dot{5}$ $\dot{5}$ $\dot{7}$ $\dot{6}$ | $\dot{5}$ — • |

a tempo

$\dot{5}$ — • | $\dot{3}$ $\dot{4}$ $\dot{4}$ $\dot{3}$ | $\dot{3}$ $\dot{2}$ $\dot{4}$ $\dot{4}$ $\dot{3}$ | $\dot{3}$ $\dot{2}$ $\dot{4}$ $\dot{4}$ $\dot{3}$ | $\dot{3}$ $\dot{1}$ $\dot{1}$ $\dot{0}$ | $\dot{3}$ $\dot{4}$ $\dot{4}$ $\dot{3}$ |

rall *pp*

$\dot{3}$ $\dot{2}$ $\dot{4}$ $\dot{4}$ $\dot{3}$ | $\dot{3}$ $\dot{2}$ $\dot{4}$ $\dot{4}$ $\dot{3}$ | $\dot{5}$ — • | $\dot{0}$ $\dot{2}$ $\dot{3}$ $\dot{4}$ $\dot{5}$ $\dot{6}$ | $\dot{5}$ $\dot{5}$ $\dot{3}$ $\dot{3}$ | $\dot{5}$ $\dot{5}$ $\dot{6}$ $\dot{7}$ $\dot{1}$ $\dot{2}$ |

cresc. *f*

$\dot{3}$ — • | $\dot{3}$ $\dot{2}$ $\dot{1}$ $\dot{7}$ $\dot{1}$ $\dot{6}$ | $\dot{5}$ $\dot{5}$ $\dot{6}$ | $\dot{7}$ $\dot{7}$ $\dot{7}$ | $\dot{1}$ $\dot{5}$ $\dot{1}$ | $\dot{5}$ $\dot{2}$ $\dot{2}$ • |

f *dim.* *rit.* *a tempo*

$\dot{1}$ $\dot{3}$ $\dot{5}$ $\dot{1}$ | $\dot{5}$ $\dot{2}$ $\dot{2}$ • | $\dot{1}$ $\dot{3}$ $\dot{5}$ $\dot{3}$ $\dot{0}$ | $\dot{1}$ $\dot{3}$ $\dot{5}$ • | $\dot{5}$ $\dot{1}$ $\dot{1}$ • |

dim. *p*

$\dot{3}$ $\dot{5}$ $\dot{5}$ $\dot{0}$ | $\dot{5}$ $\dot{3}$ • | $\dot{3}$ — • | $\dot{3}$ — • | $\dot{3}$ — • | $\dot{3}$ — • | $\dot{3}$ $\dot{0}$ $\dot{0}$ $\dot{0}$ ||

pp

My Blue Heaven

提供 寺村安雄

私の青空

W. Donaldson
Arr. by S. Yoshikawa

Fox Trot Tempo

2/2 *mf* $\overset{v}{\circ}$ $\overset{!}{\circ}$ $\overset{!}{\circ}$ 0 1 3 5 | 6 5 3 1 | $\overset{v}{\circ}$ $\overset{!}{\circ}$ 0 1 3 5 | 6^v 4 3 5 6 i | 6 $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ |

6 | 3 5 6 | 5 $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ | 5 5 6 1 3 | $\overset{2}{7}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ | $\overset{3}{1}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ | $\overset{2}{7}$ $\overset{1}{5}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ |

$\overset{1}{5}$ $\overset{v}{\circ}$ 3 5 6 i | $\overset{6}{2}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ | $\overset{6}{2}$ | 3 5 6 | $\overset{5}{3}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ | $\overset{5}{3}$ 5 6 1 3 |

$\overset{2}{7}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ | $\overset{3}{1}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ | $\overset{2}{7}$ $\overset{1}{5}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ | $\overset{1}{5}$ 3 3 3 | 3 4 4 6 2 |

6 5 5 6 | 5 4 6 $\overset{v}{\Delta}$ | 6 $\overset{\Delta}{\Delta}$ 7 | 7 6 6 5 | 5 4 4 5 |

4 3 $\overset{v}{\Delta}$ 5 3 - | $\overset{5}{3}$ $\overset{v}{\circ}$ 3 5 6 i | 6 $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ | 6 | 3 5 6 | 5 $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ | 5 5 6 1 3 |

$\overset{2}{7}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ | $\overset{3}{1}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ | $\overset{2}{7}$ $\overset{1}{5}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ | $\overset{1}{5}$ i i i | i 7 7 6 | 6 5 5 6 |

5 4 6 $\overset{v}{\Delta}$ | 6 $\overset{\Delta}{\Delta}$ 7 | 7 6 6 5 | 5 4 4 5 | 4 3 5 $\overset{v}{\Delta}$ - |

$\overset{5}{3}$ $\overset{v}{\circ}$ 3 5 6 i | 6 $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ | 6 | $\overset{v}{\circ}$ 3 5 6 | 5 $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ | $\overset{5}{3}$ $\overset{v}{\circ}$ 5 6 i 3 | $\overset{2}{2}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ |

$\overset{v}{\circ}$ 3 3 - - - | $\overset{2}{2}$ - - - | i - - - | $\overset{v}{\circ}$ 0 1 3 5 | 6 5 3 1 |

$\overset{v}{\circ}$ 0 1 3 5 | 6 5 3 1 | 0 - 3 - | 3 5 - 1 - | 6 $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ $\overset{\Delta}{\Delta}$ | $\overset{1}{5}$ 0 0 0 ||

ハーモニカをポケットに、能代～竜飛崎 250km の旅

木原 淳

2018年8月11日～22日、ハーモニカをポケットに、秋田県能代市から青森県竜飛崎まで旅をしました。1日約30km歩いたり走ったりで8日間、250kmの旅でした。今回のコースは五能線の海岸、岩木山のそびえる津軽平野、津軽半島陸奥湾沿いに竜飛崎までたどりました。この旅で音楽関連の出会いやハーモニカを通じての多くの人々との出会いがありましたので、その一部を紹介させていただきます。

出船歌碑（能代市）

「今宵出船か お名残惜しや・・・」で知られる『出船』の歌碑が能代港にありました。この詩は、作詞した勝田香月が18才の時、啄木に憧れて東北・北海道を旅した時の小樽港と能代港の印象がヒントになったと言われています。歌碑は、展望タワーの傍の原っぱに、ポツンと立っています。研磨された石に歌詞が刻まれ、それが大きな自然石のなかに埋め込まれた豪華な造りです。



『出船』歌碑

しかし何故か淋しい雰囲気があります。香月はこの歌詞のなかで1番は「暗い波間に」、2番には「暗いさみしい灯影のもとで」と「暗い」という言葉を2度も使っています。何かこの歌詞を連想させるような印象でした。ここでハーモニカを吹いたのですが、どこかいつもと違って気持ちが入りました。

4世代の宴会

奇岩の多い五能線の海岸を3日間歩いてから、津軽平野に入って間もなくのことでした。雨に打たれた後でしょげながら歩いていると、「スイカくってけ」と声がする。見ると家族が道路脇のガレージで宴会をしている。ランナーにとってスイカは水分とエネルギー補給の点から願ってもない物である。遠慮せず有り難くいただいて、お礼にとハーモニカを演奏する。家族は90代とは思えない元気な葛西キヨエさんと、小学生のひ孫さんまで4世代が集っている。

アンコールに応え世代に合わせて数曲を演奏した。演奏後には焼きそばまでご馳走になった。焼きそばも4世代家族との会話もおいしかったひとときでした。



葛西家の皆さんと

津軽ねぶた囃子

津軽半島を陸奥湾沿いに北上している時のことです。海岸で母親と小さな子供2人が遊んでいました。子供は2歳の大幹君と5歳の蘭ちゃん。ハーモニカを吹くと、「もっと吹いて」と次から次へとリクエストをしてくる。童謡を吹いていたのだが、そのうち蘭ちゃんが「ねぶた囃子を吹いて」といつてきた。困ったので「おじいちゃんは、ねぶた囃子を知らないから教えて」と言うと、蘭ちゃんは「ラッセラッセ」と歌いながら踊り始めたのである。驚いた。こんな小

さい子供にまで“ねぶた”が浸透しているのだ。“ねぶた”の将来は安泰だ。童謡 100 周年の今年だが、童謡の将来を思うと不安でならない。

ひとしきり遊んだ後、竜飛岬を目指して歩き始めたが、蘭ちゃんと大幹君の「パイパーイ」という声が、姿が見えなくなるまで聞こえてきたのが耳に残っている。



ねぶた囃子を踊る蘭ちゃん

『津軽海峡冬景色』歌碑

津軽半島では、ホタテ養殖の蟹田、義経伝説の三厩で宿をとり、ついに竜飛崎に到着。竜飛の町から階段国道を上った丘の上に灯台がある。この場所からは北海道がすぐ目の前に見える。海峡の潮の流れは、鳴門や関門ほど速くはないようだが、それでも眼下の岩礁付近は渦が巻いている。どこからか『津軽海峡冬景色』の曲が風に乗ってかすかに聞こえてきた。道を上がってくる観光客の夫婦に「歌はあの駐車場横のところから聞こえてくるのですかね？」と尋ねると「そう。でもね 2 番から始まり 1 番が歌えなかった」と奥さんが残念そうに話す。そこで「1 番から歌いますか？ 伴奏しますよ」とハーモニカを吹き始めると、なんと大きな声で歌いだしたのである。知らない人と、初めての地で音楽でつながる、楽しい時間であった。

『津軽海峡冬景色』の歌碑は大変大きく立派である。2 番の歌詞が真ん中に大きく刻まれ、1 番は右奥に小さく刻まれている。その前には波を模したのであろうが、ロールケーキによく似た飾りがある。その飾りの真ん中に赤いボタンがありそれを押すと曲がかかるのであるが、音

質がとてもよくまた大音量である。派手な前奏の後にいきなり 2 番から始まるので少し違和感はあるけれど、2 番の歌詞に竜飛崎が出てくるのだからそれはそれで納得できる。



『津軽海峡冬景色』の歌碑 (竜飛岬)

ちなみに津軽海峡冬景色の歌碑は、青森市の青函連絡船メモリアルシップの所にもある。こちらは歌碑の前に立つと自動で曲がかかり、普通に 1 番から始まっている。

今回の旅では特に人との出会いが多かった。ホタテの養殖の人、三厩で昆布を干す人達、文化財の屋敷の館長さんなどなど。これは津軽の人達の情が厚いことに寄るのかもしれない。それに何ととっても、ハーモニカのお陰である。ハーモニカは人と人をくっつける磁石のようなものだ。

私は 73 才、いつまで続くかは分からないが、これからもハーモニカをポケットに、日本中の海岸線をたどり、人との出会いを楽しみたいと思っている。



『津軽海峡冬景色』の歌碑 (青森市)

連盟サイト閲覧手引き VII

編集局 HP 担当 渡辺晃志

ハーモニカ練習の補助ツールとして、パソコンを便利に使っている会員さんも大勢おられることと思います。

- * ネットワークを使った楽譜や音源の検索
- * 録音の編集・整理
- * 写譜・分版
- * スマホをチューナー・メトロノームとして常用・携行等に加え、通知・連絡用に欠かせない道具になり、【文具】並みの手軽さで普段使いをされていることでしょう。そして、身近になればなるほど、その動きがままならないことに気づくこととなります。
- * 買った時はきびきびと動いていたのに**起動に時間**がかかる。
- * アプリの**動作が不安定**で遅くなった。
- * **シャットダウン**に時間がかかる。
- * 知らぬ間に**不要なアプリ**が入ってきた。
- * 目を離している間に**スリープ**や**再起動**する。

などなど、他にも気づくことがたくさん出てきます。今回からこの問題を調べて少しずつ解説して行きます。(参照文献：日経 PC21 他)

☆**起動に時間がかかる**

起動から終了までイライラさせられる。買った時はきびきびと動いていたのに1年で起動時間が倍になった。

その現象は、マウスポインターが読み込み中のままで動かなくなり「応答なし」と表示されたりなどです。

原因は、内蔵ハードディスク内の一時ファイルにゴミがたまりソフトの動きが不安定になるためです。たまったゴミファイルには

- ・インターネット一時ファイル
 - ・ウィンドウズの一時ファイル
 - ・ログファイル
 - ・レジストリファイル
 - ・無効なショートカットファイル
- があります。

インターネット一時ファイルの削除

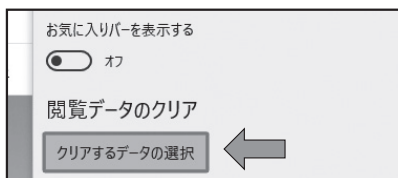
ブラウザによって削除の方法が異なります。

Edge・GoogleChrome を例にとれば、Edge では次の①～③の操作をします。

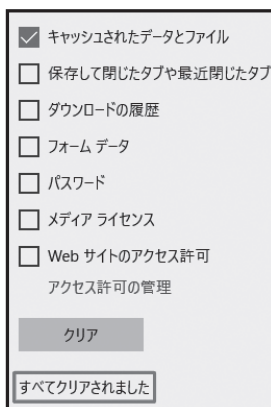
- ①「設定」のメニューをクリックします。



- ②「クリヤーデータの選択」をクリックします。



- ③「キャッシュ データファイル」をクリック



次号では、
Google Chrome での
操作を解説します。

宮崎発夢未来～感動の共感を世界中に

みやざき中央新聞

〒880-0911 宮崎県宮崎市田吉6207-3 info@miya-chu.jp Tel(0985)53-2600 Fax(0985)53-5800
毎週月曜日(第5月曜日は除く)、月4回発行/1か月1,080円(税・送料込)

11月5日(月)
2018年(平成30年)
2764号

1面	門田 隆将さん……………新聞・雑誌 ジャーナリズムの舞台裏～ No. 1
2面記事	コラム・高萩徳宗さん……………いざ、本物の旅へ。～ No. 10(終)
	中島 信也さん……………喜んででもリズム(読み切り)
	高野 登さん……………To The NEXT STAGE～ No. 2
	灰谷 孝さん……………人間脳を育てる～ No. 3
	「転載・過去・未来」……………神田紅さん「元気の秘訣は色気」～ No. 94
	取材ノート……………鬼塚恵介「彼女の名前は『スプツニ子!』」

「赤い靴」「兎のダンス」「かなりや」「待ちぼうけ」「シャボン玉」「七つの子」「夕焼け小焼け」「うれしい雛祭り」
あなたはこれらの童謡をいくつ歌えるだろうか。もし歌えるとしたら、いつ頃覚えたのだろうか。遠い昔、親や祖母が子守唄代わりに歌ってくれたり、幼稚園や保育園で歌ったり、NHKの幼児番組で流れていて、いつの間にか心に染み込んでしまったのではないだろうか。

先週、ハーモニカ奏者のもり・けんさんと会った。「童謡伝道師」を自称しているもり・けんさんは、国内外で演奏と講演をしながら、童謡の魅力を伝える活動を20年前から行っている。

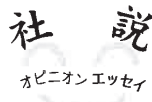
もり・けんさんの話によると、最近では幼児の歌を広い意味で全て「童謡」というそうだが、狭義的には三つのジャンルに分けられるという。

一つは「花いちもんめ」や「あなたがたどこさ」など、昔から伝承されてきた「わらべうた」。それから明治に入ってから文部省が音楽教育を目的として編纂した「うみ」「蛍の光」「春の小川」などの「唱歌」。

そして冒頭に紹介した「童謡」だ。童謡誕生のきっかけは、1918年(大正7年)に児童文学者の鈴木三重吉が創刊した児童文学雑誌「赤い鳥」である。

教育ではなく、子どもの純正を育むことを目的として創刊された「赤い鳥」には、芥川龍之介、有島武郎、泉鏡花など、当時の名高い作家が賛同し、作品を寄せた。「蜘蛛の糸」「杜子春」「房の

日本のお宝、童謡が100歳になった



長崎県人 水谷 謹 魂の編集

チローなど、著名な詩人が寄せた詩に曲が付けられ、世に出ていった。ちょうど巷では一般家庭にレコードが普及し始めていた。それまでの「文部省唱歌」にはない高い芸術性を帯びているということで、社会的な大ブームになった。

もり・けんさんは言う。「あなたが童謡を歌えるのは、幼少期にそれを伝えた親や祖父母がいたからです」

「お寺に生まれた子は小さい頃からお経を聞いていますが、意味など分かっていません。でも、大人になったらお坊さんになります。歌舞伎役者の子は2歳くらいで初舞台に立ちますが、意味は分かっています。でもその子も歌舞伎役者になりません。幼い頃から自然と慣れ親しんだものは大人になってから必ず何かの形になって残ります」

学ぶことや理解することより、6歳までは「感じる」ことが重要なのだ。そう。なるほど、体の成長に五大栄養素が必要のように、「感じる」ことは心の成長にとって欠かせない栄養素だ。そのために幼児の五感は今も全開になっている。やさしいメロディ、肌のぬくもり、お母さんの香り、周りの人たちの笑顔、手作りの味。これらをたっぷり感じさせることだ。この時期に「教えること」を優先させてしまふのは、人生における重大な損失だ。

さて、童謡第一号の「かなりや」は、実に不思議な詩だ。1番から3番まで、唄を忘れたかなりやを、子どもたちが「山に乗てようか」「小敷に埋けようか」「鞭でぶと

うか」と言っている。それを聞いていた母親が「いえいえ、それはかわいそ」と言いながら、4番で「象牙の船に銀の櫂で月夜の海に浮かべましょう。きつと唄を思い出すわ」と歌っているのだ。曲調も3番までは悲しげなメロディだが、4番から急にワルツのような3拍子に変わる。

西條八十が人生に悩んで働けなくなった人のことを書いたとも、自分自身のことを書いたとも、いわれている。

今年、童謡誕生100年の年。この貴重な日本文化は、果たして次世代に歌い継がれるだろうか。その力ギは私たちの手中にある。

ていませんで、その子も歌舞伎役者になりません。幼い頃から自然と慣れ親しんだものは大人になってから必ず何かの形になって残ります



ハーモニー編集室では、読者の皆様からのハーモニカに関連する「お役立ち情報」の提供や「教えてほしい事」の呼びかけやトピックス等の投稿を歓迎します。投稿者氏名と希望するタイトルを付けて編集室宛てにEメールにワード文書添付でお送り下さい。但し原稿の内容やページ数の都合で全て掲載されるとは限りません。

◆高1の娘とデュエットも、徳永教室発表会(吉村則次)

年2回開催される徳永教室発表会、第47回2018年夏の部は、2018年8月19日(日)大阪心斎橋の国際楽器社4階ホールで開催された。

8月5日(日)に開催された西日本ハーモニカコンテストの直後でもあり、デュエット部門優勝者アヨリズムさん、ジャズ・ポピュラー部門優勝者山崎妙子さん(福岡県小郡市)、同2位の望岡季世彦さん(香川県高松市)、同3位の八尾裕子さん(福岡県福岡市)の演奏もあって、合計57組の華やかなものであった。

山崎妙子さんの高1の娘さんとのデュエット、「宝島」は微笑ましく、また嬉しいものであった。また、関東のプロ奏者、山下伶さんも、久々に来られ、さすがという演奏をいただいた。



山崎妙子さん(福岡県小郡市)と高1の娘さんとのデュエット



女性4人のカルテット

◆前売り券売り切れ!! 徳永延生 山下伶 徳永有生 ライブ(吉村則次)

2018年9月15日(土)、大阪心斎橋の国際楽器社ホールで上記ライブが開催された。比較的小さいホールだったので、前売り券は売り切れとなり、当日にチケットを持たずに来られた方は、入場できないという事態となった。

横浜から、若い、魅力的な、今大人気のクロマチック奏者である山下伶さんが来られたことが大きかったと思われる。徳永延生さんの子息である徳永有生さんの演奏も素晴らしかった。また、岡直弥さん(当連盟会員)が、ゲスト出演した。



左から 徳永延生(当連盟特別顧問) 山下伶 徳永有生

◆高ければいいというものではない? ハーモニカの音、芸能人も間違う(吉村則次)

2018年10月9日、ABCテレビで「芸能人格付けチェック」という番組で、3種のハーモニカの中で、どれが一番高級品かを当てるクイズ番組があった。横浜市のクロマチック奏者である山下伶さんが、楽器を隠されて、「アメージング・グレイス」を、

A「ホーナー社製80万円の最高級品シルバー・コンチェルト」、

B「13,000円の大量生産された入門用ハーモニカ」（メーカー名、機種名の説明はなかったが、絵を見れば、我々には分かった。ホーナーのクロメッタ12であった）、
 C「子ども用ハーモニカ」（なぜかメーカー名もない複音ハーモニカの絵が写されていた。しかし、音は複音ではなく、シングルリードであった）

を使って演奏された。

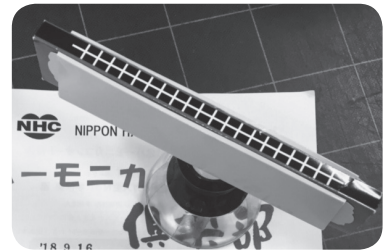
芸能人二人が一番「高級品」として選んだのは、Cの「子ども用ハーモニカ」であった。



2018年10月9日ABCテレビ「芸能人格付けチェック」ハーモニカ どれが高級品か

◆ハーモニカコンサートに立体ポスターを作ってみませんか！（村上博昭）

枚方市のハーモニカ愛好会「活き活きクラブ」では、公民館でのコンサートに、ハーモニカ立体ポスターを作成して掲示しました。注目度は抜群で、第1号模型は、即日、盗難にあってしまいました。すぐに第2号模型を作成し、再掲示したところ、盗難の話題と共に大好評でした。印画紙など少し厚めの用紙に設計図をプリントして作ります。素晴らしいアイデアをハーモニカのPRに活用していただきたく、紹介します。（編集室に詳しい設計図があります、興味のある方はご連絡をお待ちします。）



ハーモニカ実物大の模型

“行って！見て！聞いて！”（私の備忘録）Vol.11 「何故ハーモニカを選んだのか？」

岩本洋之

「歌は人に対する愛情が深くなければ気持ちは伝わらない」とソプラノ歌手の田中彩子さんがテレビで述べておられました。「どうすれば人の心を打つような演奏が出来るのか？」という疑問に答えてくれたような言葉でした。ただ、演歌でもクラシックでも「歌」は言葉を媒介にストレートに心に訴えることが出来ますが、楽器はどうでしょうか？

楽器を演奏する場合も考えるべきは「人に対する愛情、大自然や社会の様々な現象に対する愛情の持ち方が大切」と言葉では語ることが出来るが何か欠けていそうだ。

「人は何に魅かれて楽器を選ぶのか？」と疑問を抱き仲間の楽団員に選んだ動機を調べた方がいたそうです。その方の報告では「多くの演奏家はその楽器が“人の声に似ている楽器と感じた”から選んだ」というもの。ヴァイオリン奏者、チェロ奏者、コントラバス奏者、フルート奏者、トランペット奏者等々。

自分の声で表現したいが、それは難しい。なので楽器で表現したい、ならばどの楽器で表現しようか？「声による表現に替る楽器」を求める欲求が「実際に選んだ楽器」に繋がったとの結論になる。その理論で行くと、ハーモニカを選んだ我々は「ハーモニカを吹くのが表現方法として歌いやすい」と言うことになるようだ。なるほど、「対象への深い愛情を感じながらハーモニカで歌うように表現する」ことが出来れば「人の心を打つような演奏」が出来るということだ。

それにしても、音楽の原点は「人の声」。古代から親しんできたサウンド「声」は永遠に音楽のベースであると改めて学んだ。

会員異動のお知らせ (2019年1月号)

2018. 11. 18現在

組織部長 梅田恒弘

当連盟では名簿を公開していますが、本人の申し出があれば個人情報(住所・電話番号等)を非公開に出来ることが、2004.7.12の常任理事会で決議されました。また、2014.8.28常任理事会で、会員異動のお知らせの住所表示は市区名までにする決まりました。会報217号(2018年10月号)でお知らせ以降の会員異動は、次の通りです。(敬称略)

(個人会員入会)

会員番号	氏 名	〒	住 所	受付日
704	石川清孝	639-	大和郡山市	2018. 10. 31

(団体会員入会)
ありません

(2018年度登録団体)
ありません

(住所訂正)
ありません

(団体名変更)
ありません

(団体代表者名変更)

団体番号	(新) 団 体 名	(新)代表者名	(旧)代表者名
35	伊丹ハーモニカフープ	小林 均	田中英二

(個人退会)

個人番号	氏 名	理 由	受 付 日
371	藤原延之	逝 去	2018. 11. 18
189	渡辺 昇	逝 去	2018. 10. 23

(物故者) (組織部に連絡があった方のみ掲載)

個人番号	氏 名	受 付 日
371	(理事) 藤原延之 (ご冥福をお祈りいたします)	2018. 11. 18
189	渡辺 昇 (ご冥福をお祈りいたします)	2018. 09. 23

2018.08.19現在の個人・地域外個人・準・賛助・特別の合計は237名、団体会員は671名(61団体)です。

お願い: 個人会員の入会・退会、団体会員の入会、住所・住居表示・電話番号・市外局番等名簿記載事項の変更は必ず組織部へお知らせ下さい。

<編集局よりお知らせします>

梅田恒弘組織部長は、この度、日本ハーモニカ芸術協会より「大師範」の栄ある称号を受けられました。誠にありがとうございます。長年のご功績をたたえ、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

<40周年の2019年度に限り入会金無料です。この機会に広く入会を呼びかけましょう>

連盟への入会のきっかけについて、研修会への会員優待等の他にも、次のような例があります。参考にして下さい。一つは昨年9月の合宿交流会で同室になった四国から参加された方に、話し足りなかったとの気持ちを込めて後刻「会報ハーモニー」を郵送しましたところ、2ヵ月後に「入会したい」とのお電話を頂戴し感激。もう一つは、「孫がハーモニカを吹いている写真を、「会報ハーモニー」にどうでしょうか?」のおたずね。「大歓迎です」。どこからでも良いですから連盟や会報に興味を持っていただくのが先決と実感しました。(編集室 岩本洋之)

第 29 回関西ハーモニカ祭り写真



わかくさハーモニカ会



アンサンブルフレンズ狭山



THE Hom β (ザ・ホンブ)



村上浩一さん



小林希久子さん



NHK 神戸マリンハーモニニー

■スマホの急速な普及によって、WEB 閲覧の道具がパソコンからスマホに移り変わっています。WEB 編集に際しては、両者の画面サイズに合わせて、行間・文字間を変えていましたが、最近パソコンサイズがスマホサイズに自動的に変換されて表示されていることに気づきました。パソコン・タブレット・スマホと3種の画面で確認していた作業も昔語りになり、楽になりましたが自身のスキル劣化を嘆く今日です。(渡辺晃志)

■最近驚いたことが二つあります。一つは、私達の心にしみる曲として親しんできた「城ヶ島の雨」を60歳定年で新しく入会してこられた方が「そんな曲は聴いたことがない」とのたまわれたこと。「ハーモニカで軍艦マーチ」は昔の話ですが、「城ヶ島」や「出船」のような日本の名曲がだんだん聴かれなくなるのは残念です。もう一つ驚いたのは数字譜に馴染めず、音譜の楽譜を要求する若い方がおられ、アンサンブルの曲を選び直すことになったこと。

連盟の研修会でも「音符を読む」ことを勉強します。18年間にわたって「ハーモニカが上達するための大切なこと」を連載下さった池田輝樹先生も「数字譜だけでなく音符を読んで演奏することを忘れずに」とアドバイスを頂きました。音符付きのハーモニカ楽譜が増えて欲しいと思います。

研修会と言えば、関西ハーモニカ連盟では年4回の研修会、合宿交流会、芸術協会関西支部の楽典基礎勉強会を始め、色々な形の講習会の開催と案内を行っています。斎藤壽孝先生の講座では「ハーモニカのための楽典」(全音楽譜出版社)「ハーモニカ編曲入門」(同)、楽典基礎勉強会などの講習会では「改訂音楽通論」(教育芸術社)が使われていて馴染みのある方も多いかと思います。(岩本洋之)

■ハーモニカを始めて最初の憧れの人が故吉森正隆先生でした。連盟の創設にもご尽力されたそうです。記念碑が谷町九丁目にあります。私自身の節目の度にご報告に行くことにしています。連盟40周年記念冊子を発行できたら先生にお見せする。これをモチベーションにこれから取り組みたいと思います(竹内寿子)

■童謡誕生100年の年は、全国を駆け回り童謡伝道行脚。都府県の約半分23都府県で70講演、コンサートに走り回る日々。大阪に帰ると、出版社、大学、ハーモニカ教室。そこでも童謡普及。北は福島県南は沖縄県この活動は2019年も続く予定。平成最後の年に100年を迎える童謡たちも多い。お山のお猿、金魚の昼寝、靴が鳴る、背比べ、とんび、浜千鳥、夕焼小焼など。童謡伝道師としてこの歩みはずっと続けることになっている。(もり・けん)

次号
締切日

次号 第219号 (2019年4月号) の
原稿締切りは **2月15日(金)**、会報編集室必着でお願いいたします。
同封物締切りは 3月5日(火) 発行は3月中下旬予定。

関西ハーモニカ連盟 会報 第218号 (2019年1月号)

発行人 吹上 晴彦
編集人 もり・けん
発行所 関西ハーモニカ連盟会報編集室
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町6-12 西栄ビル2F
TEL 06-6354-0323 FAX 06-6353-1393
e-mail: harmonica@cardandmedia.co.jp
印刷・製本 株式会社カード & メディア



ドレミちゃん
© 関西ハーモニカ連盟 2011

<編集局より 40周年記念誌にふさわしい作文を募集します!>

6月に発行予定の連盟40周年記念誌に掲載する作文を書いてご応募ください。お寄せいただいた作文の中から記念誌にふさわしいものをいくつか編集局で選ばせていただきます。個人会員、団体会員を問いません。要項は次の通りです。

《テーマ》 例えば「過去40年の私とハーモニカ」「これからのハーモニカ普及発展のための私の提言」など40周年にふさわしい題をつけてください。

《文字数》 400字を目安にしてください。ワードで作成してメール添付、または手書きを郵送でもかまいません。

《締切り》 2019年3月31日

《送り先》 編集室 e-mail: harmonica@cardandmedia.co.jp
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町6-12西栄ビル
関西ハーモニカ連盟 会報編集室





お子さん、お孫さん、ご家族の方々、親しい仲間、かわいいペット、大切にしているもの、風景など…ハーモニカと一緒に写っている写真を広く会報読者から募集しています。採用分は会報の表紙または裏表紙に掲載いたします。ふるってご応募ください。プリントまたは写真データを郵便またはメール添付便で下記までお送りください。

関西ハーモニカ連盟会報編集室「ハーモニカとワンショット」係
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F 関西ハーモニカ連盟事務室内
e-mail: harmonica@cardandmedia.co.jp